京城日報

六日夕刊

本紙定價　一部金二錢
發行兼編輯人　眞田直毅
印刷人
發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社

時間表

[illegible]

◎岡陸相病氣退職せん　後任は大島次官か

轉地療養の爲め三日小田原に赴ける岡陸相は昨冬大演習出張中持病再發し平井赤十字社病院長等より屢々轉地靜養の勸告を受けしも御大典より議會と引續き多忙を極め其機を得ざりしが其後病勢兎角面白からず此上激務に服する能はざる容態なるより益辭意を固くしたる由にて政局一段落を告ぐるを機とし近く議會閉會後現職を退くに至る可く後任には大島次官の昇任を見るに至る可しと(東京特電)

◎公債募集法律案

減債金に關し政府貴族院の妥協に成る國債償還の爲めに公債募集に關する法律案は單行法律案として制定する事となり五日內閣より上奏御裁可を待つて政府は同案を七日衆議院に提出の運びとなる可し(東京特電)

◎英現內閣反對黨組織

英國に於て現聯合內閣に反對せんとする一派主として急進派自由派人々との間に新に組織されり是等の人々は既に議院內に於て自由黨の黨是に服從せず來議會には政府の政策を遠慮無く批評す可し目下自由派のジェンコウレー氏等專ら活動中なり(倫敦電報)

◎露國の牛羊絶滅豫防

露國農務大臣は露國內に於ける牛羊絶滅の危險を避けんため一週に二回宛肉食禁斷法を設くるの必要を提案し戰爭開始當時には歐露に給す可き相當數のみにても四千萬に及びしが其以來漸減し既に二割五步を有するのみとなれりと說き尙軍隊の糧食中にも肉の割を減ぜんことを提議せり此案は多分遠からず實行せらるべし(露都電報)

◎朝鮮の眞綿業　生產と輸移入狀況

▲鮮內生產額　最近一箇年間に於ける鮮內の眞綿生產額は販賣用の目的を以て生產せるもの二百七十四貫自家用の目的を以て生產せるもの七百二十七貫蠶業傳習機關に於て生徒の實習用として生產せるもの四十一貫目合計一千十二貫目にして同年の眞綿輸移入額は小包郵便又は旅客の携帶品として移入せるもの、調查を缺くを以て其總額を知るに由なきも各地の稅關を通過し移入せるものは一千三百三十一斤、即ち約二百十三貫目なり

▲輸移入數量　眞綿は從來防寒用として內地人に賞用せらるゝ外葬儀用として一部の朝鮮人にも使用せらるゝを以て近來其需要地と目せらるゝ京城釜山等を始めとして內地人居住者多き都邑又は其附近には之が生產販賣に從事する者ありと雖も現今に於ける其需用額は叙上の生產額及び輸移入額に徵するも未だ多からざるが如し

▲將來の需給　然れども將來在鮮內地人の增加するに從ひ其の需用額の漸次多きを加ふるは勿論、朝鮮人間に於ける用途も亦年と共に擴張せらる可く一面製絲に適せざる屑繭は養蠶業の發達に伴ひ逐年增加すべきに依り屑繭利用の一方法として相當之が生產業の勃興を促すの必要ある可し但し現時の狀況に於ては內地人の少き地方に於て漫然其生產販賣を企つるが如きは其多少を問はず深く注意を要する所なりとす

◎鐵道建設工事概況

最近一月末現在に於ける鐵道各線工事概況は左の如し

▲清會線　清津、章興間線路建設工事(一四哩七)は施工せず章興古茂山間線路建設工事(二三哩九)は土工々事六分八厘通り橋梁工事五分五厘通り隧道工事を通じ六分四厘通り成工し富寧隧道工事(二一二一呎二)は一月十七日導坑貫通し古茂山金五里間線路建設工事(二一哩八)土工々事及び橋梁工事は施工せず隧道工事總體を通じ五分四厘通成工せり即ち第一茂山隧道工事(三〇四九呎二)導坑掘鑿南口一千四百四十七呎北口九百七十九呎大脊切擴南口七百八十五呎北口六百二十呎側壁築南口五百十五呎北口二百五十呎拱築南口三百七十五呎北口百十四呎に達し第五茂山隧道工事(三三九八呎五八)は導坑掘鑿南口八八六呎北口一千二十二呎に達し第七茂山隧道工事は導坑掘鑿南口一千三百七十四呎大脊切擴南口一千二十六呎北口一千十五呎側壁築北口三百三十呎拱築北口百四十呎に達す

▲湖南線及京釜線　豆溪論山間の內廣石同湖川間線路改築工事は土工々事四分七厘通り橋梁工事一分九厘通り總體を通じて三分二厘通成工せり

▲裡里美蓉間及裡里群山間線路改築工事の內裡里美蓉間に土工々事二分四厘通橋梁工事一分五厘通總體を通じて一分五厘通竣工し裡里群山間は土工々事二厘通り橋梁工事一分八厘通總體を通じて一分五厘通竣功せり京釜線新灘津芙江間線路改良工事(六哩八)は土工々事九分八厘通橋梁工事隧道工事等は全部竣功總體を通じて九分九厘通竣工せり

◎平南地主の自覺

江西地主會に臨席し此程歸任したる平安南道三宅技師は語つて曰く

米穀の優良種普及調製の改良に就ては當局の最も意を注ぎ居る處にして平安南道各郡に於ける地主會に對しては極力之が勸奬指導に勗めつゝ有るが近時地主會の自覺的活動に因りては實に活目に値す可き者あり即ち比較的高き智識と豐富なる生產力を有する地主は當局の指導奬勵に對する理解著しく明確になり從つて農事改良の一日も忽にす可らざる事を覺り進んで小作人を督勵しつゝ有るが彼等の多數は近來當局勸奬法の宣傳者中介者實行者たるの自覺を有すると共に小作人に對する苛斂誅求は絶無となりたる者の如し例へば從來小作人は優良種の配付を受け此れを收穫するも改良種は在來種に比し精白步留良好なれ共ノギ無ければ桝數少く從つて小作料納入に際し非常の損失を招く而已ならず彼等が市場に於て賣買する場合も改良種なるが爲めに特に優待さるゝに非ざるを以て改良種の配布をさへ厭ひ居りしも近來本道內各產米郡に於ける地主會員は大凡賭租は三割打租は二割の戾米を與へて奬勵に努めつゝ有るが其の効果甚だ見る可き者あるが如し此の一事を以てしても彼等が宜く當局の指導に從ひて弊習を矯めきつゝ有る一證となし得べく更に調製器具の購入堆肥の製造優良種の分配交換等に全力を擧げつゝ有るに至つては我當局者として誠に愉快とする能はざる處なり(平壤)

◎馬鈴薯栽培奬勵

京畿道に於て大正四年度臨時恩賜金授產費に依り馬鈴薯栽培奬勵の爲め長崎赤種三千七百八十貫を配付せし狀況を聞くに配付人員千八百八十六人、作付反別十五町八反五畝一步、收穫高四萬七千八百六十三貫にして本種は在來種に比し品質佳良收穫多きを以て一般栽培者に歡迎せられ其の種薯の貯藏量の如きも七千百七十一貫目に達せりと

◎土地查定公示

土地調查局にては今回左記の土地に對し查定の公示を爲せり、公示期間は三月一日までにして不服申立期間は三月二日より四月三十日までの由なれば同查定に對し異議ある者は右の期間までに申立つこと肝要なりと

道名	郡島名	面數	洞里數	筆數
京畿	長湍郡	一〇	六七	六五、〇八五
同	楊州郡	一六	一四八	九六、八七九
同	漣川郡	一三	一一一	七六、〇七一
同	高陽郡	一二	一五五	七三、七一七
慶北	聞慶郡	一一	一二九	八四、九一二
同	醴泉郡	一〇	一五三	九八、三〇三
慶南	宜寧郡	一四	一一四	九八、一七四
同	咸安郡	一一	一九二	一〇九、六八三
平南	江西郡	一六	一六〇	一一八、一四五
忠南	洪城郡	一一	一三九	八五、五二一
同	保寧郡	一〇	一〇五	七四、七九六

全南　濟州島(楸子面を除く)周山面、珠山面、大川面、新南面、甑山面、藍浦面、熊川面、周浦面(島嶼を除く)、熊川面(石蘿島以外の島嶼を除く)及鰲川面の內鰲城里、永保里、鳥浦里、校成里、葛紐里(以上各里に附屬する島嶼を除く)

◎一月手形交換額

本年一月四日より三十一日に至る京城手形交換所の交換額は小切手一萬五千二百六十枚三百萬六千五百七十圓、送金爲替手形七百九十八枚十三萬五千二百九十圓、仕拂命令及び出給命令千三百八十五枚七十八萬三千六百三十八圓、郵便爲替證書五千八百十五枚七十二萬六千七百九十一圓、公債證券同利札二千五百三十六枚一千七百八十六圓の外雜證票三百三十二枚二十六萬八千二百四圓にして其金額總計五百二十九萬八百六十二圓なりと(圓下切捨)

仁川

▲學校組合會　仁川學校組合にては五日午後一時より府廳樓上に於て組合議員會を開き諮問事項として公立商業學校豫科廢止の件を協議せり

▲稅關課稅價格變更　仁川稅關にては來る十六日より輸移出穀類に對する課稅價格を左記の如く變更施行する筈なりと

大豆	一石	六、一六〇
同	同	五、六五〇
小豆	同	六、三五〇
同	同	五、三〇〇
[illegible]	同	六、七〇〇
落花生	百斤	五、四〇〇
牛皮	同	四五、〇〇〇

群山

▲醫會藥價値上　群山醫會にては歐洲戰亂の爲め藥品大暴騰を告げ從來の藥價にては到底一般患者の需用に應じ難きを以て協議の結果藥價値上を斷行することゝなり二月一日より宅診料を全廢し府內往診每回二十錢府外往診每回一圓を受くる事とし藥價は一日分に付五錢宛値上を斷行せり

▲參禮の發展　全北全州郡參禮は全北輕鐵開通以來市日殷賑として著しく發展し來り近時日鮮人の來住者特に著しきものあり同地最近の調查に係る內鮮人戶口數は內地人戶數四十三戶同人口百四十人鮮人戶數二百三十戶同人口一千餘人にて尙續々移住者を加へつゝある狀況なるが最近大農場の中心を此處に移せるもの數多ありて近く米穀の移設新設さるゝものの數多ありて將來必ずや附近一帶の耕地を控へたる參禮は附近の米穀集散市場たるべし現在同市場の米穀取引高は三十萬圓以上に達すべく之に次で一箇年の米穀取引高は三十萬圓內外にして市場外取引高を加算せば優に五十萬圓以上に達すべく之に次で同所附近特產生姜の市場取引額は十六萬貫四萬五千圓內外に達せり而して前記の如く米穀加工機關の設備漸次增加するに從ひ之が包裝に要する繩叺の需用多く最近同地當業者の奬導に依り繩叺製造組合を組織すべく目下準備中にありと

木浦

▲客月貿易額　一月中に於ける當港貿易額は輸移出七十四萬九千四百二十八圓輸移入十八萬一千九百九十二圓合計九十三萬一千四百二十圓にして之を客年の同期に比すれば實に輸移出五十三萬五千四百五十七圓輸移入十一萬五千七百八十二圓の增加なり

▲昨年屠獸數　大正四年中の屠獸數は牛二萬六千八百七十六頭豚一萬六千三百頭犬八千八百二十一頭羊百四十二頭馬二十二頭合計五萬二千百六十六頭なりと

▲棉花改正價格　本道陸地棉販賣價格は去る一日道廳より指定し來れるが之に依ればミッドリング四十圓にして前値より一圓十錢方の低落なり本浦相場一等十二圓十五錢二等十一圓九十四錢三等八圓五十錢六厘四等六圓七錢六厘四に近來出荷は皆無也と

▲橋本府尹歸任　別府溫泉に轉地療養中の橋本府尹は其後經過良好にして此分なれば豫定の如く來る十日頃歸任すべしと

釜山

▲獻木苗圃觀察　朝鮮より明治神宮に奉獻すべき樹木假植地として總督府にて釜山學校組合所有地たる高遠見水源地を選定し無償貸與方を申込みたるに對し組合にては旣に承諾の旨回答したるを以て六日總督府山林課掛物技手來釜實地調查をなしたるが右場所は地勢上取締に不便なるを以て西南の山麓に變更するも計らずと而して三月上旬總督府より職員來釜苗圃地鎭祭を行ふと同時に周圍に七五三繩を張り普通人民の交通を禁止す可しと

□　中島生

二月五日は小生が初めて朝鮮の人となり京城に落したる記念日に候。群山よりの車中、滿二箇年の半島生活を回想し乍ら早や裡里に著し候。此町には臨益南部水利組合の事務所あり次の汽車までの時間を利用して行いて訪ふ。事務所は町外れにあり。大體の概念を得て後、水利施設の一部を見る。成程、萬頃江畔溝渠縱橫、洵に一大施設たるを疑はず。暁晴に雲雀を聞く。空晴りたれど寒からず。十二時四十三分發にて大田に向ひ申候。(五日正午裡里驛にて)

□□□□

四日夜群山の料亭花月に於て、土地の官民有志三十餘名の人々と、膝を交へて歡談するの機會を得たるは最も愉快に存候。卅餘名と申せば、殆ど群山の有力者を網羅す。總ての人と最も適當の時に最も打ち解けて相語りつゝ、小生は群山人士の意氣の甚だ昂然たるものあり、活氣の溢れつゝあるを(假令米況面白からぬ當節にも拘らず)看取し、群山の將來を頗る賴母しく感じ申候。本日は早起、午前七時四十分の一番にて大田に向ひ申すべく候。(五日朝群山を去らんとして)

▲井口司令官招宴　朝鮮派遣隊將校現地戰術演習は一日より金海及び東萊附近に於て擧行中なりしが六日を以て終了せり視察のため演習地に出張せる井口軍司令官は白水司令官以下の慰勞を兼ね伊藤軍醫監、伊藤運輸部長、武富大尉、橋本釜山醫院長、岡村鐵道局參事、堀井釜山驛長、廣田中學校長等を招き六日午後六時東萊溫泉蓬萊館にて晩餐會を開きたり

▲輕鐵設立申請　牟田口元學、佐藤潤象氏等の發起資本金三百萬圓の朝鮮輕便鐵道株式會社は既報の如く至極好調に諸般の處務一段落を告げたれば愈五日附設立許可申請書を釜山府廳經由總督府に提出せり

▲壹岐丸電信局長任命　本月二日より同船內に二等郵便局開局せしが今回局長に鐵道院書記增井清一氏任命されたり

◎吉長線交涉

川上滿鐵理事の使命

吉長鐵路借款改訂の交涉をなすべく滿鐵理事川上俊彥氏は社員數名を隨へ三日午後大連出發奉天より京奉線にて北京に向ひたるが北京著は四日にして差當り六國飯店(グランドホテル)に投宿滯在の上支那交通部に對し交涉開始の筈にて支那側交涉委員は既に吉長鐵道の

▲現狀を視察した　る農商部參事陸夢熊、權量及吉長鐵路總辦盧恩氏等なり交涉終る迄には約三箇月を要すべしと言はるゝも案外速に交涉終了するや知れず元來吉長鐵路協約は我明治四十年四月當時の北京駐劄公使林權助氏と當時の外務部大臣那桐、瞿鴻機、唐紹儀三氏との間に締結せられたる新奉及び吉長鐵道に關する條約に其の基礎を成し翌四十一年十一月我が北京公使館一等書記官阿部守太郎氏と郵傳部鐵路局長梁士詒氏との間に締結せられたる

▲新奉及吉長鐵路　續約に從ひ該線敷設に對し南滿洲鐵道會社は其の敷設費の半額を出資し技師長及び會計主任を容れ而して其の借款條約第五條『滿國所辦の新奉及び吉長鐵道は共に南滿洲鐵道と連絡すべし』とあるに依り新奉線連絡と共に吉長線も滿鐵と連絡すべきものなるに該鐵路開通後今に至るも其の連絡成らず之より生ずる交通上の不利不便輕少ならず加ふるに支那側の吉長線經營方針、營業狀態、管理方法設計及び工事等當初の所期に反するもの尠からず旁々今の

▲改訂は多年必要　視せられし事なりしに昨年成立の日支新條約に依り其の改訂を宣明せるを以て乃ち同鐵道に深き關係を有する滿鐵の當事者自らその衝に當り其の改訂を實にすべく遂に川上理事の北京行を見るに至りたるなり支那政府は昨今は日本に對し好意を表し居る折柄なれば此際の交涉は機宜を得たるものとも云ふべく圓滿なる解決を見んこと必せり(大連)

◎滿鐵北京公所

川上滿鐵理事が吉長鐵路借款改訂の爲め北京に向ひたる事は別項所報の如くなるが此の以前多年滿鐵にて希望せる滿鐵公所を北京に設くることも其の副用件として處辦せらるべく世間此の滿鐵公所を以て外交機關といふも外交は國家の司る所にして營利會社たる滿鐵の其の衝に當るべき性質のものにあらず隨つて其の公所なるものは鐵道事業其他經濟上の事項につき支那政府と直接交涉の必要ある場合双互の利便を思ひ其の交涉の爲に便宜設置せんとするに在りて外交てふ文字を之に冠するは猶妥當ならずと滿鐵當事者は語れり尙昨冬正金銀行との間に借款協約成立せし四平街鄭家屯間鐵道布設に關する工事上の件につき此次北京行の川上理事序にその交涉を試むべしとの說あるも之れは確かならず(大連)

◎滿洲銀行世評

滿蒙の土地開發を目的とする滿蒙特殊銀行は今回愈々政府より滿蒙銀行法案として其の設立案を帝國議會に提出したるが本店を奉天に置くとある一項につき當地人士は一樣に皆その迂遠なるを稱し何れ大連に支店を設くるならんが本店は之を大連に置き支店を奉天其他各地に設くることに改むるの要ありと唱へ居れり猶ほ

▲補給金の條項に　配當年六分に達せざる時は十箇年間國庫より之を補給すとあるが六分位の補給にては到底滿足にその業務を營み得る筈なければ少くとも配當に對し十箇年間八分位の補給をなさざる可らず元來滿洲の土地放資は頗る困難なる事業にて一步を誤れば貸付れたる虞あり隨つて政府に於いて充分の保障を與へざる限り

▲折角の特殊銀行　も其の結果本來の目的たる土地投資を嫌ふことゝなり普通銀行と均しく商工業にのみ投資するに至るなきを保せずと杞憂する者もあり世論漸く紛々たり因に現在正金銀行支店に於て營み居れる特殊資金貸出は滿洲銀行設立の曉同行に引繼がるゝ筈にて滿洲銀行は自然滿洲における植民地金融機關として活動すべしと聞く(大連)

◎張作霖轉任か

張二十七師長轉任の風說は既報の如くなるが更に探聞する所に依れば張は奉天省に於ける勢力を失墜せん事を恐れ頑強に之を拒絶し居りしも昨今中央及び段將軍等の要請益々急なるが流石の張も遂に之を諾する外なかるべしとの觀測支那官邊に行はれつゝあり中央政府は時局柄彼が綏遠に轉せん事を希望し居れるも張は之を好まず止むなくんば奉天省と近接せる熱河を擇びて其都統たる事を承諾するならんと(奉天)

サッポロ　アサヒ　エビス　ミュンヘン　ビール

大正四年下半期
第貳拾回決算報告

貸借對照表

資產之部

一 未拂込資本金	四、四八〇、〇〇〇・〇〇〇
一 興業費勘定	五、五〇八、參八七・貳〇〇
一 興業費未決算勘定	貳九〇、四六六・九八〇
一 材料品勘定	九八六、七四參・貳〇〇
一 半製品及製品勘定	壹壹貳、壹七〇・壹五〇
一 營業貸勘定	七〇九、參九參・六貳〇
一 假拂金勘定	貳參、六壹六・八〇〇
一 受取手形勘定	七〇壹、參六壹・九五〇
一 有價證券	貳五九、八四〇・〇〇〇
一 銀行勘定	貳、六壹參、〇六〇・九九〇
一 現金勘定	六八參、七七壹・貳壹〇
合計	壹五、六八八、八壹貳・壹〇〇

負債之部

一 資本金	壹貳、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇
一 法定準備金	六七五、〇〇〇・〇〇〇
一 別途積立金	八〇〇、〇〇〇・〇〇〇
一 使用人退職手當基金	貳貳五、〇〇〇・〇〇〇
一 諸預り金	參四九、六貳貳・六貳〇
一 未拂金勘定	貳七七、四六〇・〇壹〇
一 假受金勘定	[illegible]
一 營業借勘定	[illegible]
一 未拂配當金	[illegible]
一 前期繰越金	五壹五、四參七・七七〇
一 當期利益金	七九貳、壹七四・六八〇
合計	壹五、六八八、八壹貳・壹〇〇

財產目錄

貸借對照表中資產之部ト同一ニ付略ス

利益金分配

一 當期利益金	七九貳、壹七四・六八〇
一 前期繰越金	五壹五、四參七・七七〇
合計	壹、參〇七、六壹貳・四五〇
一 法定準備金	五〇、〇〇〇・〇〇〇
一 別途積立金	壹〇〇、〇〇〇・〇〇〇
一 役員賞與金	參九、六〇八・七參〇
一 株主配當金(但年壹割貳分)	四五壹、貳〇〇・〇〇〇
一 株主再配當金(但年參分)	壹壹貳、八〇〇・〇〇〇
一 使用人退職手當基金	貳五、〇〇〇・〇〇〇
一 後期繰越金	五貳九、〇〇參・七貳〇

右之通候也

大正五年壹月貳拾八日

大日本麥酒株式會社

取締役社長　馬越恭平
常務取締役　植村澄三郎
取締役　男爵　大倉喜八郎
取締役　土居通夫
取締役　大橋新太郎
取締役　宅徳平
取締役　高杉晋
監查役　大塚和三郎
監查役　桂二郎
監查役　大川平三郎

右監查候處相違無之候也

追テ監查役參名滿期改選ノ處桂二郎君大川平三郎君(以上重任)武內常太郎君(新任)當選就任セリ

清涼リボンシトロン
飲料リボンジンジヤー

●加奈陀議會開會中

議事堂猛火に包まる

大臣氣絶す=婦人、警官燒死

オツタワ來電に據れば三日夜九時加奈陀議會の下院議場に隣接せる讀書室より出火し同議事堂殆ど全燒したり、折りから議會中にて其の混雜名状すべからず下院議長夫人の來客中なりし二名の婦人、巡査二名及び商人二名燒死したり其他下院議員二名も生死不明なり首相ボールデン氏は身を以て僅に免れたるも農務大臣バーレル氏は猛火を衝いて室外に出でんとして途中に打倒れ人事不省に陥りたるが同僚の爲め救助され蘇生したれども火傷を負へり、其の他負傷せし議員數名あり目下大混雜中にて原因不明なるも出火前に擧動不審の男が同議事堂内を徘徊し居るを認めたりと云ふものあり獨探の仕業ならんとの取沙汰專らなり(東京特電)

●第二の熱海か

伊豆の富豪海雲臺温泉に投資す

釜山港東方約三里の海岸なる海雲臺は頗る絶景勝の地にして而かも温泉の湧出せるあり内地の松島又は熱海に比すべしと一時は非常に喧傳せられたる結果貴族豪商等競うて土地の買收を行ひたりしも何分交通不便なると温泉湧出量の少なきに因り豫期の繁榮を致す事能はず反て漸次衰退し昨今にては只僅かに岩永半吉氏外二三と小許の鮮人の居住するのみにして殆んど訪ふ人もなく漸く世間より忘れられんとする有様なりしが今回靜岡縣伊豆の富豪依田善作氏窃かに之れを聞き昨秋來熱心に之れが踏査をなし大いに期する所ある模樣にて遂に先月十五日秘密の中に五萬三千坪の土地を金六萬餘圓にて買收し陽春の候を待つて更に六萬餘圓を投資し諸建築を行ひ一面東萊南門より鐵道馬車を敷設して瓦電の電鐵に接續せしむる等諸計畫中なりと果して之れが實施を見るに至らば同地及び釜山附近の發展に資する所多大なるべし(釜山支局)

●刹那!懐しや篝火

地久丸遭難者の實驗談

大吹雪=咫尺も辨せぬ凄じさ=午前四時=電信局へ十四里=峯の山路

創つたやうな絶壁

去る三十一日夜咸北城津沖に於て坐礁せる大阪商船會社所屬汽船地久丸の遭難者五十餘名は四日朝朝鮮郵船會社汽船金羅丸にて元山に入港した遭難者の語る處に依ると地久丸は三十日午後十二時清津を解纜した出發の當時は海上極めて靜穩であつたが三十一日の未明

■舞水端燈臺

附近に差蒐つた頃降り出した雪が忽も大吹雪と變じ海上は咫尺も辨せぬ物凄い光景となつた、船は折々汽笛を鳴らしつゝ航行を續けてゐると午前四時と覺しき頃幾個の錨を一時に投じたやうな凄しい音響を發すると共に船體は烈しく動搖したこの物音を聞き付けて乘客は騷ぎ出したがやがて船員の通知で坐礁した事が分り素破こそ一大事出來と何れも色を變へて船室を飛び出した恁んな大騷動が演せられてゐる間は船は頻りに汽笛を鳴らして救助を求めたが何分烈しい吹雪の爲めに陸地の方角さへ分らない始末、それからものゝ一時間も經つた頃東の方に當つて炎々と燃え上る篝り火が見えたので船員も乘客も

■嬉しさの餘り

覺えず絶叫した、この篝火を見ると陸地は坐礁の場所から

◇僅かに一丁と隔つて居らぬ事が分りボートと傳馬船二艘に乘客六十餘名が分乘し猛り狂ふ

◇浪と吹雪を衝いて陸地を差して漕ぎ出したが小船は幾度となく顛覆しようとし乘客の心膽を寒からしめた、萬難を冒して岸に近いて見ると此界隈は見渡す限り

◇創つたような絶壁で取付く所も無い、一同は途方に暮れてゐると斷崖の上で篝火を焚いてゐる鮮人の合圖で崖と崖に挾まれた小さい入江のある事が分り

◇其處へ船を漕ぎ入れて上陸した、其處は淋しい漁村で海岸の近くに鮮人家屋が四軒あるばかり、六十餘名の乘客をこの四軒へ收容すると共に本船から焚出しと手荷物を運び何うやら斯うやら一段落は付いたもの、

◇交通不便な場所柄とて電信取扱所のある明川迄は十四里隔つてゐる道の無い險しい山路は一尺餘の積雪に埋れてゐるので明川迄行くのは容易な業で無かつたが

◇屈指な船員二名が案内者と共に勇を鼓して同地へ急行した、翌一日に至り漸く吹雪は歇んだので本船では終日汽笛を鳴らして近海を航行する汽船の救助を求めてゐた、午後三時頃

■北方の水平線上

幽かに煤烟が見えたので乘組員一同救ひの神にでも逢ふたやうな心地で又も絶叫した、之は金羅丸で無論救助の爲に來たのであつた午後六時になると城津から忠清丸が遣つて來た、地久丸の乘客一同は取敢へず金羅丸に收容し城津を經て四日元山に入港したのである地久丸の遭難地は明川郡上古面雲浦の沖合で丁度七年前の今頃大阪商船の恒春丸が吹雪の爲めに進路を誤まり坐礁した所と僅かに一哩隔つてゐるに過ぎない、此界隈は暗礁の多い所で航海業者の最も怖るべき危險區域である(元山支局)

蔡鍔將軍及び其自署

▲大智丸代船

會社で船賃辨償

大阪商船會社釜山支店の著電に依れば地久丸乘客の内約六十名は元山に上陸し其他は朝郵汽船金羅丸にて八日釜山著の豫定にして下の關上陸客一等二名三等十二名に對しては船賃返戻釜山下關間は乘客の希望にて連絡船にても或は他の汽船にても會社より賃金支拂ふ由而して北鮮航路たりし地久丸の代船としては仁川大阪間に使用せし大智丸(一、五〇〇噸)を當つる事になり十四日釜山に廻航北鮮に向ふ筈(釜山支局)

▲救助船亦避難

元山方面大吹雪

地久丸救護の爲め門司より廻航せる大島丸は五日暴風雪に遭ひ一時長箭港に避難せしも六日朝遭難地に向け急行せり地久丸引卸に着手する筈(元山特電)

●連絡の手は浦鹽までも

阿片吸煙者の心理=憐む可き犯罪

阿片煙の肉體に及ぼす有毒なことは言ふ迄もないが最近京城鍾路警察署で阿片煙吸食者を檢擧した朝鮮人及び支那人は全部で三四十人に達してゐる、一回

■阿片煙を

吸食した者は繼續して吸飲しないと身體が非常に衰弱して耐へられなくなるそこで又吸食するさうすると其の阿片の氣の廻つて居る間は神心爽快を覺えるこんな具合で軈て中毒性となつたものは其の顔色は蒼白色に變じて全身憔悴し殊に酷いものになると其の吸飲を中絶すれば忽ち絶息急に絶息しないまでも非常の

■苦悶の末

遂に起たなくなる此んな有樣で一度阿片の中毒に罹つた者は到底一定の職業に從事し得る樣な勇氣はない、尚ほ此の阿片煙は一回の吸飲料が少くとも三四十錢を要し一日一回から甚しいのになると三四回も吸飲するから貧弱な生活をしてゐるものでは到底之れに要する資本が足りない、そのうへ仕事が出來ない爲め

■收入の途

が立たない、其れで中毒性のものになれば一時の苦痛を慰藉する爲め阿片煙より廉價で其の結果は同様な反應作用を起すモルヒネを注射する、しかしモルヒネを購ふにも困るやうな者になると遂に

■小泥棒を

働く現在檢擧されたものに就て取調べた結果によると朝鮮人の小泥棒の中で阿片煙或はモルヒネを買ふ目的で窃盗を働いたものも多少はある、其中には

■支那人と

密かに連絡をとつて阿片煙を密輸入したものもあつたが其取引高は約三千圓以上に達してゐた、京城に持ち込んで密賣買を爲し居つたのは主に元山と仁川との二方面からであつて元山は遠く浦鹽あたりと連絡を取り仁川は

■直接支那

から舟で密輸入をやるものであるらしい、鍾路署で是等の吸飲者が使用した吸食器を押收したのは夥しい數に達してゐる

不思議の墨西哥

安達公使の談

我公使館に逃げ込む=心の裡は同情に値す=自動車に油を注ぐ=羊の生肉を嚙つて行く

其一時的占都者即ち假大統領の數は前後九名も數ふる程になつた前にも言つた樣に市の占領者が高塔に据え付けた機關砲で聽戰してゐるが勝利者は

▽乾度=新しい侵入者で前の假大統領は出奔の

止む無きに至る、處が此連中が又乾度日本公使館に逃げ込んで來る夫れが必ず夜闇に紛れて數人若しくは十數人の部下を引具し拔劍を携へた殺伐たる風采で申合せた樣に亂醉してゐる、そして是非匿まつてくれと云ふのだ中にはオイ〳〵と男泣きに泣き出す奴もある可笑しいと思へば可笑しくもあるが併し昨日迄は一都一國の主權者たる者が外國人の家へ來て匿まつてくれと乞ふ身の命運、心の裡は轉た同情に値ひするものゝさりとて之を

▽快諾=する譯に行かねば明日からは其敵黨の都で

あり國である其處に敵を匿まつたとあつて流石に穩やかで無い左らばと云つて門扉を閉ぢて挨拶しない譯にも行かれ自暴自棄して燒酒を呷つた連中なのだから何時どの樣な事を仕出來すか知れない止むを得ねから拒む如く拒まざる如く諄々として利害を說いてやる如何に亂醉者でも大抵午前の一時二時となると流石の酒も醉ひが醒め日本

▽公使=に對して

來るらしく『矢張り今は一度身を避けて捲土重來の勢を作つて來たがいゝ是非再會を約す』と握手をしてやると其厚意を謝して漸く出奔の氣になる公使館では早速自動車に油をも注いで可成り遠く迄行ける準備をしてやつて夜陰に日章旗を翻へし公使館の裏門から出してやる譯だが全く思へば一場の悲劇だ、そうすると大抵其翌日位になると新しい侵入者

▽勝利=者が部下を統率して入都して來る

幾日か幾十日かの占都者の種類は強盗の巨魁もあれば地方の勢力者もあり野心家もあり一時の氣紛れ者もあると云ふ譯で其又部下の雜然たる事は前にも言つた樣な調子だが何れは地方の山の中、田の畔で仕事してたのを引上げられて來たのだらうがまだ雜然とした市中をおめき叫び乍ら行軍し行軍し乍ら羊を丸の儘嚙つて鮮血をタラ〳〵と滴らせてる獰猛な奴などもゐる、と又

▽緑髪=をシエラチバダの風に靡かせた美少女の

馬上姿も見えると云ふ譯である處が如何に兇暴を極めた新しい侵入者も乃至は落ち行く敗退者も日本公使館(寧ろ日本人)に對しては更に一指をもさゝれ許りか非常に敬意を表してゐる事は不思議な樣だ(つゞく)

●暴風雪

北鮮航路杜絶

咸鏡南北道沿岸一帶は五日以來暴風雪の爲め船舶の航行一時杜絶せり(元山特電)

◎新羅丸に無線電信　關釜連絡船新羅丸は修繕を兼ね無線電信設備のため神戸に入渠せり

●失火鮮童　一月二十五日釜山富平町大火の火元荒木益太郎雇人金仙山(二八)の公判は五日釜山地方裁判所に開廷せられ判事より罰金九十圓若し完納出來ざれば勞役九十日に換算服役すべしと言渡さる

革命將軍(五)

候補生時代の蔡鍔

我輩は蔡鍔とは士官學校の同期生よ、彼奴は其頃から一寸變つた奴さ、斯んなこともあつたと酣酒の一時校は煙を吹つゝ

□熱涙潜々

胸中悲痛の決心

唐繼堯が怪しい三人の男から毆打された翌朝、金澤憲兵隊の某伍長は步兵三十五聯隊で窃取された秘密書類を金石海岸の砂の中から掘出した。

犯人は勿論支那留學生であつたので、陸軍部内には支那留學生に就て非常の物議が起つた。『これが眞に恩に酬ゆるに仇を以てすると云ふ遣り方だ。』と要路の某將軍も案外に憤怒した結果『斯くの如き者を軍隊内に混じて居る事は好しからぬ』と云ふ事に一決して、以來清國留學生は一切隊附には爲ない事に決定し、士官學校を卒業すれば直ちに歸還させることゝ爲つた。此の事件はたゞに留學生のみならず支那の爲めにも甚だ不利益であつた。折角日支親善の爲めにと熱心に留學生の教育に當つて居つた日本軍隊の熱誠に、水を注いだのであつた。命令一電の如うな軍隊の事であるから、議が定ると同時に支那留學生全部に除隊を命じて來た。漢人一派の留學生は此の命令を受けて非常に悄氣込んで終つた。『大變な事に爲つて終つた。何んとか工夫は無いものかしら』と彼等は

何事も手に就かず

顏を見合せて居るばかりだ。『業半ばにして除隊歸國を命せられたのは何よりも吾々の不幸であるが日本軍隊の命令は又改める事は不可能である。それに退去の期日も切迫して居るから、行李を整へなくては叶はぬ』と蔡は一同を勵まして歸國の仕度に取り掛つた。『彼滿人等は常に自分の家に火を放ける工夫ばかりして居る』と唐は沈痛な語調である。『せめて日本でお正月だけでも爲て行き度いものだ』と劉光春が名殘惜しさうに立たり座たりして居る。

『今吾々は滿人と一緒に取扱はれて居るが、

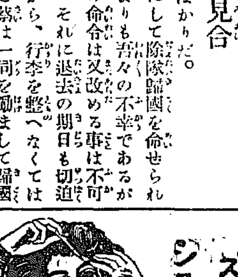
他日我々は我々である事を

日本も承認して呉れる日の有るであらう!!』

數日ならずして士官候補生として隊付になつて居る清國留學生の凡ては憲兵に護衛せられて神戸から上船して歸國の途に就いた。眞に此れ呉越同舟其の胸中思ふ所や果して何?。(完)

●肋膜炎を病む方に

●水がたまつて苦しむ人　●水がたまらなく苦む人　●ロクマクエンにて永らく病む人は淡色の液がたまり、液の中に血が交り膿汁がたまり、呼吸をすると胸が痛む、咳嗽が出る、動くと呼吸が困難になると云ふ隨分難儀な病氣である此病氣を速く治して丈夫になりませんと世の人々の最も恐れて居ります肺病や腹膜炎に成り易いのですが未だ此病氣に良く効く良藥がありません東京府大森新井宿中江藥療苑ハガキにて御照會あれば是迄實地服藥の自宅治療問答最もヨクキク驗藥の無代で差上げますから同病に惱む方に御遠慮なく申越下さい



目ニ見ヘテ　ズンく　キク　トキク
ジユマズ　イクマズ
井上博士
ロート目藥

眼病を、不潔い布や指頭で摩るのは目の爲めに惡いからロート目藥には消毒した布と、下圖の樣な新案の點眼器を添えてある
定價大瓶廿錢、小瓶十錢　全國各藥店にあり
本舗…東京…大阪…山田安民藥房

クスリはホシ
調劑四十余種各特約店にあり
東京京橋　星製藥株式會社

月星印　粹の繻子足袋
◎最近流行繻子足袋は東京一の形好よくてお品のよい　しゆすたびに限る
見本小包料共一足金五十五錢
東京赤坂區一ツ木町二十七番地
近半足袋店　電話新橋百五十九番

一瓶で効ある　たむし新劑
殺虫速効　タムシチンキ
靈効無比
■本劑は無色の水藥故身体衣類へ色附かず
■田虫　いんきん　皮膚病も快治す
(價十二錢廿五錢特製五十錢一圓送料四錢)
本舗…名古屋市廣小路通…小林盛大堂
大阪平野町小林大藥房　東京豐島町藤井藥局
■賣捌…全國藥店　若無ば替金直送郵券不苦

M EP
名譽大賞牌受領
コマツリ
大阪居留物町四坂田商店

龍角散

たんをきりせきをしづめ
ぜんそくに特効あり

今です!
たんとぜんそくの流行期は。凡ての人が警戒すべき氣候激變の時は。今です!!
この時期には極めて強壯な人でも風邪を引きがちですが夫れがたんせきとなりぜんそくとなると決して油斷はなりません。
油斷は大敵
わけてたんせきぜんそくは最も緊要な呼吸器を侵し遂には肺炎、肋膜炎等に變症し易いから輕症の内に呼吸器病一切の專門藥龍角散の服用が
最も肝要です
又數年の難症に惱む人も怠らず服用あらば氣分は爽快となり病惱は日々に減ずるに至る

主治効能
△たんにて常にゴホン〳〵と惱む人
△ぜんそくにてゼイ〳〵と惱む人
△ぜいき切する人
△せき頻に出で夜半眠れぬ人
△流行感冒より起るたんせきの人
△肺病にて常に力なきせきの出る人
△たん臭氣を帶び時々血の交る人
△小兒百日せき又はしかせきの人
△音聲のかれ咽喉の痛み總て呼吸器の諸病に卓効あり又常に音聲を使用する人の用ゆれば咽喉を滑かにし音聲のつかれを補ふ事奇妙なり

本舗　東京神田區豐島町
製劑師　藤井得三郎
電話浪花一四二四　振替口座東京九一

一日午後六時頃目下木浦港に碇繋中なる小蒸汽船怒丸乘組火夫長崎市生れの中島友一（二七）が同船々上にて火夫……と大口論の末友一に對し激せる長さ五六寸位の短刀を取出すや『己れッ』と一聲叫ぶと共に一二の太腿に突懸けて……に達する重傷を負ひ胃の一部及び大……

▲寸餘も突刺され深さ胃……

▲血塗れの短刀を携へたる…… 己が兇行を深く悔ひ直ちに上陸し……

●血眼になった採氷業者

漢江上流で厚五寸の氷原を發見　病院、肴屋、料理屋、旅宿の恐慌

京城市中の用氷は大抵冬期結氷を採取して置くのであるが稀有なる暖冬の今年は

▼**京城附近** では殆ど結氷らしい結氷がなかった何時も無盡藏に氷を切り出す漢江も今年は殆ど貯藏に堪へる樣な氷はない是が爲め病院魚市場乃至は一般氷を使用する向きでは大恐慌を來してゐる、京城龍山で毎年使ってゐる

▼**多額の氷** は主として漢江の天然氷の賜物であるのにそれが殆ど絶無と云ふ有樣であるから氷を使用する向きでは大恐慌を惹して居るのも強ち無理ではない、毎年一月の中旬頃までには京龍の天然氷

▼**貯藏業者** は大抵豫定通りの貯藏を濟ましてゐるのに、今年は二月の今日迄貯藏氷庫はがら空きの姿である、天然氷の貯藏業者は龍山分隊の管内のみでも内地人が七軒

▼**朝鮮人が** 五軒あって大きくやってゐるものは十萬貫以上を貯藏し得る氷庫を有ってゐる、此外京城にも二軒の天然氷採取業者があるが何れも此暖さをこぼしてゐる

▼**毎年京龍** の採氷業者が採取してゐる氷は多く漢江の鐵橋から約一里半里許りの上流二村洞附近の漢江岸一帶であるが、同所附近では今年の結氷は厚さ僅かに一寸位の薄氷であるから物にならぬ、爲めに

▼**採氷業者** は血眼になって毎日漢江の上流地方に出張し採氷をやってゐる、纛島の水源地から約二里許りの上流の江中に

▼**大砂洲が** あって水流が二分されてゐる箇所で厚さ漸く五寸許りの氷結を發見したので、遲蒔きながら幾分貯藏しようと龍山分隊に願出したものが兩三名あった、採取しようとする箇所は其一部の氷塊について警務總監部の

▼**衛生試驗** 室で分析試驗を行って其の結果混入物の如何によって飲料用として適不適を指定されるのであるが例年此天然氷は大抵飲料用として許可される物が多い、結氷した

▼**氷塊の中** には泥入物も尠く殊に人造氷に比較して容易に溶解しないのと値の安いのとで人造氷よりも餘程歡迎されてゐるのである、毎年採氷期になると多數の

▼**人夫等が** 漢江で採った氷を馬車で氷上を運搬するのであるが、今年は上流で辛つと採ったものを舟で漕ぎ下るといふ騷であるから天然氷採取業者に取っては

▼**大打撃こ** なってゐる延いて氷を使用する諸々の向にも幸間へることになる、しかし雜用の氷塊は別に分析の手數を經る必要もないから氷の質の如何を問はず昨今の期を外さず採取して居る有樣である

●スキー競技會延期となる

十三日に開く全國スキー大競技會は高田地方雪少き爲め二十日に延期されたり（高田特電）

演藝

▲御成座 阪東鶴藏一座七日の藝題は金比羅利生記、切御所櫻堀川夜討舞臺上旋にて殺割左の如し 關口源八、おあさ（梅老松）之丞、京之助、高のや（仙太郎）生駒 お辻、北の井（鷲雀）、しのぶ（扇駒）賀之助（理市）源口源太左衛門（巣鶴）土居内記、鉢屋（鳥雛）

▲佐久良座 三輪實一行七日の替りは亂れ髪全十一場にしてその役割左の如し 岡田父長平（三輪實）澤井喜太郎（水谷）長岡幸吉水野勇（濱戸屋）大山富吉（播磨）黑川進（西村）

▲大正館 七日より新派悲劇全二卷稀代の怪婦プロテア全四卷八千呎舊劇後藤又兵衞基次全四卷（黑田家退去より大阪城入城助勢まで百二十八場）主なるもの左の如し 歐洲戰亂圖、滑稽カルメ狂ひ、新派悲劇想夫憐

○外 その日く〳〵

△白魚か、蒸 白魚は姿でつまんで鹽水の中でそつと洗る樣にして洗はないとこはれ易いものです、鍋に味醂と醤油を煮立たせ其中へ白魚を箸で直ぐに入れひどく煮ると毀れますから極ざつと煮鍋を下してから細くかいたおかゝなどをふり加へます

日曜漫畫　今年の冬は暖かくて………めちや吉畫

（一）今年の冬は暖くて結構だと裏のお婆さんが云つた、成程暖いと結構だ、漢江には氷が張らないから今年の夏は製氷會社が儲かる筈だと今から會社の社長は大悦びだ

（二）一歩進で考へて見ると暖いと儲かるのは製氷會社ばかりぢやない、下駄屋が儲ける、暖いと自然誰も彼もブラ〳〵散歩に出る、散歩すりや下駄が耗るからね

（三）結氷しないと水道の口が凍る心配がないそこで女中が叱られる事が少くて悦ぶし水道工夫は毎日退屈凌ぎに碁盤に夢中で寝んで居る、成程暖くて結構だと思つてると、隣の爺が『今年は暖くて困る』と云つた、何故だと聞いたら

（四）第一暖いとストーブの焚きかたが少いから煙筒掃除夫が急に色氣附いた轉に毎日白い顔をして困つて居る、成程ー

（五）第二には炭屋が困る、例年なら可愛い良人も過突に入り浸りの筈がヒヨコ〳〵飛び出して困る

（六）第三には牛が困る、暖いと松葉が枯れぬ、松葉が枯れなきや鮮人が喰ぬ鮮人が喰なけや牛迄ぬ暖い、と牛が頭を空して困る

越後大評定

第百二十三席　早川貞水口演

美作が妹の自害

片山隼人我家へ歸ると、篤と思案を定め、離別狀を認め、女房に向ひ、隼『お高、高』『ハイ』隼『其方は縁あつて當家へ來り、一子新十郎を生して長らくの間夫婦でありしが、御家のためには是非に及ばず、今日長勝寺の早鐘、何事ならんと、馳付け見れば御家のため忠臣百五十餘名、汝の兄小栗美作の屋敷へ押寄せたることにて、親子を討取、御家を泰山の安きに置かんと、今くり出す所、この隼人も同道いたして、義兄の屋敷へ先手を勸めんと申せしに、小栗の妹を妻と致した汝なれば、槍玉に上げて血祭にするとて、一同いつかな乃公の申すことを聽入れず、是非なく引返して來た者の御家の御ためには夫婦親子は論じて居られぬ、止むなく其方には離別狀を遣はすに依り、是より里方へ引取呉れえ』高『何と仰せられます、假令妾に置きましては小栗の妹なりと雖も、御當家へ嫁入りたる上は、最早片山の家の者で御坐います、其良人たる貴下が、妾のため御家へ忠義を盡すことが出來ぬとあつては、良人に對して妾は不貞、また御家へ對して不忠、假令兄弟なりと雖も、兄美作に惡事あつて見れば、何と致しやうも御坐いませぬ、今更妾は離別狀を頂戴して、里方小栗の家に歸ること、女ながらもそれ程に心は腐つては居りませぬ、左樣良人は兄の家に斬込み、惡人を討つて忠義を御立て下さい、妾の心は此の通り』と云ふより早く懷劍スラリと引拔くや否や、吾と我咽喉に突立る、アッと驚いたる隼人隼『早計つたるか高』『イヤ早計りは致しませぬ、良人の御心中、美作の妹を妻となされたまゝでは、何卒御未練なく、自らの首を打つたることにて、其首を證據となし、兄の屋敷に斬込む御先手を勸め、立派に功を御立て下さるやう』隼『ム、其方の眞實感じ入つたり、然らば汝の首は身共にくれえ』潔然に思ひきつたか、猶豫いたする場合でないから、妻の首を其の所へ打落し之を携へたることにて、再び馬に打乘る、此の時伜新十郎『父上、私も御供いたし、惡人たる叔父上を討取り、親子の誠忠世に現はし申さん』隼『ム、言ふにや及ぶ、汝も後に續け』と忽ちの間に馬を飛して來る、向うから鬨の聲を揚げたることにて『ソレ乘り込め〳〵』と來る、所へ片山隼人『ヤア各位方、暫く御控へ下され〳〵』『又しても片山、この所へ來りしか何故あつて吾々の今乘込む先を止め候や』隼『暫く御控へ下されたく、乃公先刻も皆樣方と御同意なりしを以て、小栗の屋敷へ乘込む先手を勸めんと申し入れたる時に、妻の縁あるを以て乃公を槍玉に上げると言はれたり、依て今この妻の首を打落し此の如く持參いたして御坐る、御覽下されい、是にても二心ありと思さるや』と、馬上より片手に鬠を摑んで差上げ其首を見せる、一同之を見て感じ入り『さて〳〵片山殿、恐れ入りたる其御決心、斯く爲されたる上は、何の疑ふことのあるべき……各位、片山殿を先手と致して繰込め〳〵』『心得たり、イザ御先手を』隼『左らば御免下されい、伜もろとも先手を勵むるに於ては、月見ケ丘の勝手は心得たれば、何とて小栗親子を逃すべき、各位御續き下されい』と云ふとツツーツと云つて一同押出す。

お聞きなさい

▲酒代を知事に請求 兵庫縣察署巡査岡田常三郎は一昨年三月突如轉署の辭令を受けたので憤慨し知事と警察部長に事情を具申した爲め退職處分に處せられたが同人は轉署辭令を受けた當時から精神の苦痛を忘れん爲め一日一升の飲酒を續け七箇月間に二石一斗を飲干したから一升を五十錢としても百五圓の損害を生じたのでセメテ此端金の五圓丈なりとも賠償してくれと服部知事を對手取り請求訴訟を起した

▲十人我艦員を襲はんとす 軍艦秋津洲は南洋の蠻島チモールを探險したが其時蠻人は愉快さうにして樹に上つた、熟視すると投げ劍を以て上陸隊を狙撃せんとして居る、驚いて帽子とステッキを投げ出し他意なきを示し手を以て蠻人を招いため蠻人も漸く安心して接近して來たさうだ

▲一人前百圓の料理 此程歸國された露國太公殿下が大阪の富豪久原房之助氏の別邸に成らせられた時久原家では一人前百圓の御馳走で一行を饗した久原家では空前の御馳走だらうと自惚れて居るが莫斯科等では一寸した宴會が矢張り一人前百圓位かゝるので御一行を餘り馴載しなかつたのであらうと

二月八日九星　舊正月五日乙亥　本命九紫　南納大安

▲九紫● 節道のたゝぬ事有日注意 新事見合せブ手出しのできぬ事有日 新事は吉暗劍南▲一白● 手拵藝事は吉 紹介時印形を禁ず▲二黑● 大望叶日轉居入學金談 名弘求職棟上婚禮定期取引等萬吉▲三碧● 公明正大の日 轉居旅行 出願求職金件築造婚禮 雇入等皆吉物に時の日▲四綠● 大飛び計る等萬吉▲五黃● 旭日昇天の日 不圖立身出世の道に出づ萬望利有 女子は一層よき事有り日轉居旅行商入學金件縁組 築造漁業組合の事は吉▲六白● 至たる考の起る日隨て新事手控萬事は吉 緒生に注意せらるべし▲七赤● 發引のつかぬ日用心せらるべし▲八白● 既昌の日 轉居旅行入門名弘求職 新築事有日新事手控萬事は吉 新取引は用心せらるべし 金件婚禮訴訟の和を圖る等萬吉

寫眞　寫眞出張撮影　寫眞銅版、亞鉛凸版　最も熟練せる技術を以て最も廉價に迅速と可懇親切を旨とし御需に應ず　京城日報社寫眞製版部

演藝案内

櫻井町 大正館 電話八七三番 二月七日より新派悲劇（學生諸君參考資料）○實寫歐洲戰亂圖 ○滑稽カルメ狂ひ ○新派大悲劇 想夫憐 全三卷 △五味國太郎木下吉之助一派出演 ○稀代の怪婦『プロテア』全四卷八千呎 佛蘭西エクレア會社傑作 ○舊劇 後藤又兵衞基次 全四卷 黑田家退去より大阪入城助勢迄百二十八場

本町 壽座 電話五七八 六日替狂言 新派劇 角藤派木村清憲一行 一番目 神田兒 五場 二番目 喜劇 性我儘 三場

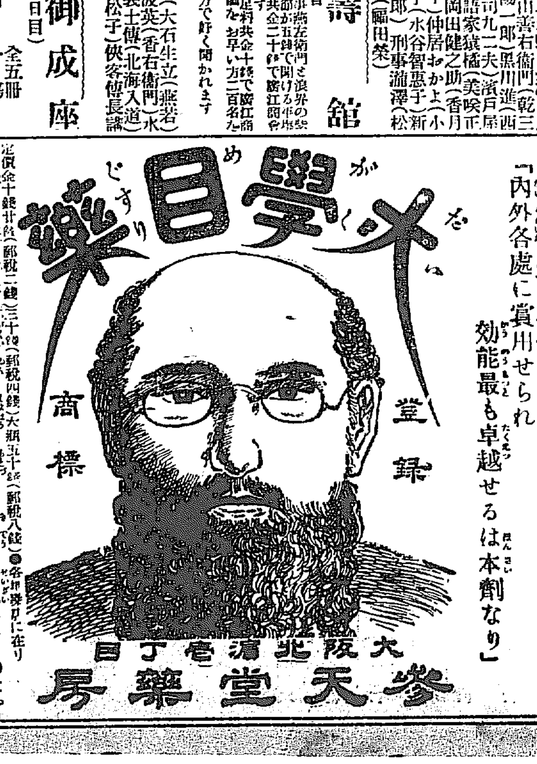
黃金館 黃金町四丁目 電話二六三七

壽館 壽町 電話一〇五〇 廣江黨愛煙家の福音 早稻田大學出身の本多哲事浪花節が五銀で閉ける平部山本松子合同の浪花節 二階へ御出の御方へは下足料共金二十錢 限り差上げます 下足料共金五錢で二階桟方で好く聞かれます 二月六日演題 義烈百傑（文右衛門）伊藤侯と井上侯の渡英（香右衛門）水戸黃門記（むら雲）義士傳（北海入道）鍵屋騷動二席（山本松子）俠客傳長講二席（兆左衞門）

御成町 御成座 電話二一九一 二月七日替狂言（六日目） 金比羅利生記 全五冊 切 御所櫻堀川夜討 一場

明治町 浪花館 電話二六〇番 京山若圓京山恭爲合同大一座 二月七日初日讀物 △三ツ瞬勇士髷（京山爲春）△義烈百傑（京山圓洲）△水府義公（吉田若春）△天下三老士鬼面山谷五郎（二席京山若圓）△善惡乳兄弟大山七郎刑事の譽れ（二席京山恭爲） 午後六時より開演

新龍山 佐久良座 新派自然劇團三輪實一行 二月七日藝題 朝鮮新聞小説 亂れ髪 全十一場



「内外各處に賞用せられ効能最も卓越せるは本劑なり」

大學目藥は帝國醫科大學醫院の處方に基き最も貴重の製劑にして●星目●トラホーム●のぼせ目●疲目其外眼病一切に驚くべき効能あり●十歳以下の小兒の爲別に小兒用大學目藥あり

内科小兒科　入院隨意（普通病室並に隔離病室）　京城旭町一丁目（鈴木醫院跡）　小林醫院　醫學士 小林千壽　電話六九二番

婦人科產科　入院分娩應需　京城旭町壹丁目　中央婦人病院　院主 衣笠茂　（電話二三四〇番）

資本金五百萬圓　頭取 安田善三郎　京城本町壹丁目　株式會社百三十銀行京城支店　銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候爲換取組先は内地各方面並朝鮮樞要の地に有之候　電話圓五八番一九四番　振替貯金京城一一三番

眼科内科　小兒科　入院隨意　京城黃金町三丁目赤門通（電話二四四三番）　本田醫院　院長 本田建義

無双醇良清酒

衛生無害　品質無双　首藤合名會社吟造　精白米卸小賣　キリンビール　サッポロビール　醬油　甲繪萬　各種　シトロン　三矢布引サイダー　各種　朝鮮發賣元　首藤京城支店　黃金町（電話一一七一番）

文房具筆墨類卸　●●●　新案特許 輕便印刷器 定價七十八錢 送料四十錢　最新考案 地理獨覺へ 定價貳十錢 送料四錢　新案特許 やまと狀袋 見本送料共金二十錢　◎御照會は郵券封入の事　大阪北區天神橋筋西二丁目　内外文房具筆墨商　松田大寶堂　振替大阪二九九四番

ライオン歯磨の品質優秀なる理由

一 製造基礎の確實

【口腔衛生學】ライオン歯磨製造の基礎は口腔衛生學にあります。それに學者專門家の意見を參考して精製した衛生品で厶いますから、衛生と没交渉な體裁外見の美を避けて内容の確實に努めました。

二 原料選擇の嚴肅

【精選の實】原料が惡くて良い歯磨の出來やう筈がありません。それ故ライオン歯磨の原料選擇は非常に嚴格で、少しでも標準を下るものは遠慮なく排ねてしまひます。【粉末の極微】斯様に原料を精選しますから、粉末が極めて微細でございます。此の點は樂店の誇る所で、又一般世人の信ぜらるる所と存じます。

三 藥品配合の合理

【貴重藥品の混和】ライオン歯磨には數十種の貴重藥品が混入してあります。是等の藥品は皆な口腔衛生學上から見て最良のものばかりで、何れも學理的に配合された歯磨として、化學的並に物理的に清掃の效果を充分に備へて居ります。【香氣の淡雅】口腔衛生學上、餘りに香氣の高い歯磨はよくありません。又俗惡なものも使用に堪へません。ライオン歯磨の香氣はあつさりしてゐて、高尚で、得も云はれぬ親しみがあります。【刺戟性の温和】刺戟性強烈なのは口腔粘膜を害しますから、ライオン歯磨には絶對に之を避けました。ちよつと考へると、刺戟性の温和なのは、物足りない様ですが、實はこれが衛生的なので、此の事は歯科醫諸君にお尋ねなさつても直ぐ判ります。【効果の偉大】以上の結果として、ライオン歯磨は防腐、制酸、殺菌、收斂等の偉効を備へて居りますから、歯牙の美と健康の増進とに間然する所はございません。

四 工場設備の完全

【最新機械の採用】何んなに原料を精選しても、配劑を合理にしても、工場が不完全では良い結果を得られません。ライオン工場は有らゆる最新機械を網羅してゐる工場でございます。【試驗場の設備】且つ分析試驗場の設備があつて、此所には數名の專門技師及び歯科醫師が常に專任に研究を重ねて居ります。そして又嚴格に製品の檢査をしまして、善いと認めたものばかりを市場に出すのでございます。

五 製産額の鉅多

【製造費の節減】ライオン歯磨の産額は非常に大きい結果として、製造費の輕減を來しますから益々品を良くして價を安くすることが出來ます。

六 品質優良の證據

【歯科醫の承認】ライオン歯磨の品質優良なることは、殆んど全國の歯科醫諸君が承認下さいまして、熱心に御推奨下さる所でございます。【政府統計の證明】大藏省主税局調査の「大正二年及三年度外國貿易要覧」の歯磨粉の部に「本年本品の輸出は支那を第一の販路とし、更に印度方面に於て著しき發達を表し、其他南米方面に於ても顯りたる數の實行あり。輸出の品は依然小林製のライオン印最も多く、英米向として需用あるのみならず、本年メキシコ方面へも顯りたる實行あるに至れり。」とあるのは、ライオン歯磨品質が優秀なることを間接に證明したものであります。【公共團體の證明】ライオン歯磨は各所の博覽會、共進會等に於て常に歯磨中の最高賞を得て居りますのは、直接にライオン歯磨の品質の優秀なことを證明したものでございます。

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行

秀吉丸 二月九日 後四時出帆
大行丸 二月十二日 後四時出帆
神代丸 二月十五日 後四時出帆
蛟龍丸 月 日 後四時出帆
君が代丸

仁川海岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部

朝鮮郵船 出帆

本社 電話長一九五二番二三一番 鐵道及其外船と貨客連帶輸送の便あり、詳細は支店、出張所、代理店、荷客取扱店に御照會被下度 京城南大門驛前 京城荷客取次店 松原運送店 (電話二七〇番)

全羅丸 二月十二日 / 京畿丸 二月廿二日 / 黄海丸 二月十六日 / 成鏡丸 二月六日 釜山發 (木浦より釜山各港寄港雄基行)
穩城丸 二月十三日 / 昌平丸 二月十一日 / 鏡城丸 二月七日 元山發 (元山より各港經由雄基行)
永興丸 毎月廿八回 元山發 (北久味、五里浦行 又は長崎延長)
登德丸 二月十四日 釜山發 (甘浦、九龍浦、浦項各港寄港)
江陵丸 襄陽丸 毎日 (釜山 浦項)發 (長生浦、方魚津寄港)
三浦丸 二月八日 釜山發 (長承浦、巨文島、濟州各港寄港)
海州丸 巨濟丸 統營丸 慶寶丸 毎日 釜山發 (各港經由麗水行)
順天丸 三日目毎 木浦發 (各港經由麗水行麗水より釜山行に接續)
慶興丸 二月十二日 木浦發 (三日目一回木浦行)
公州丸 二月十一日 木浦發 (南多島海列島行(月三回))
公州丸 二月七日 木浦發 (各港經由濟州島行)
全州丸 二月十九日 仁川發 (海州他各港經由、龍溏又は白翎島行)
江原丸 二月十五日 仁川發 (芝罘、大連、青島行)
麗水丸 晋州丸 二月十二日 二月七日 仁川發 (各港經由木浦行)
錦江丸 南陽丸 毎日午前 仁川發 (江華島、鎭南浦、海州行)
平安丸 二月十三日 二月七日 群山發 若松發 (大黑山、木浦、門司、若松行)

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行 立神丸 二月八日後五時出帆
○元山清津浦鹽行 立神丸 二月十七日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行 小倉丸 二月十五日後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行 小倉丸 二月 日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 二月十九日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 二月十 日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 天眞丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆

釜山港埠立船町 本船取扱店 大池回漕部

阿波共同汽船仁川出帆

朝鮮總督府命令船 芝罘、大連行
共同丸 二月六日 後二時入 二月八日 前九時出

城津、清津、浦鹽行(元山出帆) 第一阪鶴丸 月 日 後九時 月 日 出港
西湖津沿岸各港を經て雄基行(元山出帆) 第三共同丸 月 日 前八時出帆

阿波國共同汽船株式會社 本町一丁目(電話一〇八番) 仁川代理店 山下回漕部 元山代理店 田口回漕部 南大門通(電話一二八、二〇一七番) 京城取次店 河村運送店

汽車發著 京釜線 南行 北行 京義線 湖南線 京元線 (時刻表 判読困難)

京城日報

七日朝刊
(第三千二十三號)

本紙定價 一部金五錢 一ヶ月金六拾五錢(郵送共前金に限り) 三箇月金壹圓九拾錢 六箇月金三圓七拾錢
廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲指定欄一行金壹圓 ▲三號活字一行は五號活字の二行 ▲二號活字は同四行
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 谷口政太郎
京城太平通一丁目
發行所 合資會社 京城日報社
電話 編輯局 三四番 營業局 一二五番 振替貯金口座京城三〇〇番

……みか同地にては比較的需要輯起を見……

第三

……二十一萬噸を三十萬噸計畫の……るが本年二月、六月に八百……

……月三隻、七月……三隻都合十六隻總噸數七萬四千噸を……建造することに決定し此の儀にて戰……

……日午前松田海事工場の救助船大島丸……(總噸三〇〇)を門司より遭難地へ急……し居る故……支拂を受くべきも本船……

……海上保險に二十萬圓の船體保險を附……

……同行が創立以來……貸出は實に三億九……千九百四十七萬四千圓にて其……償還……額は一億二千四百二十六萬四千圓な……

……期に於ける……勸銀の資金吸收は大……千三百萬圓の發行と……割增は少券四百萬圓の發行合計千七百萬圓吸收あり

▲農村の疲弊

都市の發達に反して地方農村の困憊は年一年と增

總督の諭告と吾人の覺悟

三、忠實なる意志と穩健なる氣風

既往五年の朝鮮經營中、總督は拓地撫民の聖旨を奉戴して刻苦精勵殆ど寢食を安せず、朝鮮の開發に心血を濺ぎたるは吾人の齊しく瞻仰する所なり。而して其百般の施設計畫の外常に理を説き事を解けて諄々懇示して止まざる所以のものは、畢竟するに朝鮮千五百萬人民の福利を增進せんとするの外、他意あるに非ざるは何人も了解するに苦まざる所なる可し。

而して其目的を遂せんが爲めには單に物質的の改善を以て足れりとせず亦精神上の發達に俟たざる可からざるは勿論なり。唯朝鮮の舊時に於けるが如く、民衆多く饑餓に瀕せる狀態に在りては所謂衣食足りて禮節を知るの事情あり、殖産興業の獎勵を以て焦眉の急務と爲せるは素より其處なりと雖も、之れが爲め總督は決して教化を忽諸に附せしにはあらず、寧ろ此の方面に對しては初めより周到なる注意を拂ひたるは、如何に教育事業が既往五年間の短日月に於て改善進歩せるかを見るもの、了解に難からざるところなる可し、されば今回の諭告中に於ても

凡そ國民の進歩を完うせむとせば單に物質的の發達を以て足れりとせず、又常に忠實なる意思と穩健なる氣風との向上に俟たざる可からず、若し其れ利慾に急にして理義を沒却し、法網の及ばざるを僥倖して奸計詐略を廻らし、或は無用の事端を開きて健訟の弊を馴致し、又は讒言を弄して良民を誑惑するが如きは、當に自ら其身を誤るのみならず、流毒を他人に及ぼし遂に民福を進め國利に資するの目的を阻礙するに至らむとす、豈猛省せざるべけむや。

といへるは、寔に反覆玩味す可きの箴言といふ可し。蓋し帝國政府は併合以來朝鮮人を以て帝國臣民の地位に置き、吾人も亦彼等を同胞として親愛止まざるに拘らず、今尚ほ時に頑迷不逞の徒なきにあらず。今日の文明制度の下に於て生命財産は安固となり、上には苛斂誅求の弊なく、下には火賊横行の憂なく、堵に安じて業に就き生を樂むを得るに至れるは、皆之れ新政の恩澤ならざるは無きに、較もすれば隴を得て蜀を望むの慾望より、或は自己の境遇に依り不滿不平を抱くものなきに非ざるが如し。

由來頑固なる儒生兩班中には其舊來の感想上、多少不滿の意を抱くものありし趣きなるも、五箇年間に於ける實驗に依りて總督の眞意を會得するに及び、新政の德澤を了解して遂に其態度を改め、順良なる言動に出づるもの多きを見るに至れるに反し、少壯血氣の輩にして內地又は外國に於て所謂新智識を習得したりと稱する者の中に、却つて不穩の言行あるは朝鮮の發達上甚だ憂ふ可き處なり、是れ等の輩は啻に自ら其方向を誤る而已ならず、其流毒を他人にも及ぼし、爲めに國家の進運を阻害する者と謂はざる可からず、總督の寒心に堪へずとなせるは蓋し是れが爲めなるべし、然れども這は只責を是等朝鮮人のみに歸す可きにあらず內地人にして自ら先進を以て任ずるものは宜しく身其範を敷き則を垂れ常に私利の外公益の重ず可きを示して苟くも非違の行動なく、以て朝鮮人の同化を圖るの心掛あるを要す。

戰亂の影響と日本の化學工業

―朝鮮の原料品―(一)

中央試驗所理學士 今津明氏談

我國現下の狀態より推考すれば工業の發達獎勵は刻下焦眉の急ならずんばあらず、文明の進歩に從ひ吾人の生活程度向上し生活程度の向上は化學工業品の需要を激增する所以なり、然るに今回の戰亂に由て交戰國に於ける製造工業は停止せられ其結果として吾國に多數の製造工業品の供給を申込み來りたれども如何せん其需要の十分の一だにも供し得ざる程にて所謂寶の山に入りながら手を空しくして逸するより他に詮なき有樣なり

▽**幼稚なる化學工業** 是に依つて端なくも我國文明の缺陷は此工業品の幼稚なる一事に由つて最も明に證據立てられたるは頗る遺憾とする所なり然れども奈何せん既に及ばず工業の獨立より云ふも一國の富を增進する點より考ふるも工業の獎勵は極めて重大なる問題と云はざる可からず、單に工業の獎勵と云ふも其範圍甚だ廣汎なるが目下我國の貿易狀態より觀て之れを考ふるに化學工業品のみの輸入超過額は我對外貿易の全輸入超過額よりも大なるの一事なり即ち我國に於て化學工業品の輸入さへ防止すれば我國の外國貿易は寧ろ輸出超過を見る可きものにして此點より推考すれば我國化學工業の盛衰は我國の貿易狀態を左右するものなり從て國家の富力を增進せしめ工業の獨立を圖るには同工業の發達如何に最も主要なる部分を占むるを以て現在の化學工業に就て卑見を開陳せんとす

▽**製造品と原料品** 化學工業とは何ぞ、安價なる原料を化學的に加工して一層高價なる製品と爲す總ての工業を指すものにして範圍極めて廣大なり例へば油を原料として之を靑性加里と共に煮沸し石鹼を作り、コールタールを原料として之を種々化學的に加工して人造染料及び藥品の製造を爲し、空中窒素を利用して窒素肥料の製造食鹽を原料として曹達の製造、テレビン油(松の樹より取る油)より人造樟腦の製造、綿を原料として人造絹糸の製造、土砂を原料として硝子、陶磁器の製造、木材を原料として紙の製造等一々枚擧に遑あらず

雲雀　前川千帆筆

米國より

七十歲の老僧本派本願寺派の八淵蟠龍氏は昨年渡米したるが最近氏より寄せ來りたる通信如左(大阪)

老衲米國南加羅府に駐錫異鄕の年を迎へ六十九回の新年を祝し居候なく洋食の元日に新年らしき感じも無く嬉しからざる新年にて有之候餅は八月十五日より十二月十三日まで百二十餘日北は晩香坡、シヤトル、タコマ、ポートランド、南はローサンゼルス、サンデーゴ東はオクデン、ソートレーキデンバー西は桑港オークランド、ゴンコード中加サクラメント、スタクソン、フレスノ、サンノゼ、バカビル、ワッソンビル等在留民の所在地は寒村僻邑山邑漁村に至る迄餘す所なく訪問し或は墓場に行きて誦經說法し或は農園に說き工場に諭し或は鑛山に語り漁場に演べ會堂は纔に十六箇所なれば或は耶蘇の會堂に學校に白人ホールに旅館に玉突場に到る處に開演し開會數百八十五席旅程五十哩**面白き活動なりし**米國に於て多年の紛擾をなし殆んど治むるに道なきことに立至つたるサンノゼの別派分立の件も今回は調和の運びとなり近年葛藤分立したるローザンゼルス南加敎會も今度調和すべきことに成り先づこれにて米國佛教の前途障礙なきことに相成此の上時機を見て負債を償却すれば米國佛敎發展の運びは容易なるべし又メキシコの探檢を思ひ立ち十二月二十一日羅府まで出懸けたる所生憎其の日メキシコ行の船出帆し月二回の航海なれば次月一月三日と云ふ事にて致し方なく羅府に越年し戰爭の爲め破壞したる鐵道も既に近日復舊すべき運びとなりたれば一月五日鐵路により出發すべき事に相決し候**墨地の探撿は理想的殖民敎會の計畫に**て北米の如き殖民政策も開教も誤りては今更致し方なし故に獨逸式殖民法と天主教モルモン宗等の殖民法を參考として廿世紀文明式東洋の殖民教會を計畫すべき考に御座候北米加州は世界の樂土なれば現時の如き排日熱の劇しき所は平定の道なく畢竟殖民政策を誤りたるものにて今更取り返しの附かざることなればメキシコは加州以上の樂天地にて氣候温暖布哇に等しく土地肥沃にして植物何品に依らず成熟し人口は日墨會社の開拓地にしても一州の範圍は我日**本國に比すべき大範圍に**して僅かに三十萬人より居らざれば日本人の二三百萬人入國しても十二分の餘地あり實に有望の地なり米人は敵すれども日本人は歡迎せり斯る樂土を見逃して加州の如く各國人の入り來りて競爭するごときことにては手後れなり何れ探檢の上實際の事は可申上候一月下旬にメキシコより歸り止むを得ざる米國の講演を濟まし二月中旬までに布哇に渡り巡敎終りて歸國することは四月に相成可申候

朝鮮俚諺先生(第四回)

○범도제소리하면오고、사람도제말하면온다。

(漢譯)說虎虎至、說人人至。

此漢譯は丁鏞(號茶山)といふ朝鮮の昔の學者が斯く數百語を譯して『耳談續纂』といふ書物にして居る、それが一々韻を踏むであるから面白い、序に『耳談』といふ本は支那の王氏撰集である

(和譯)虎も己れの話をすれば遣つて來るし、人も己れの話をすれば遣つて來る。

人の噂をすれば其人たまく來るの意で陰で他人を誹るものでは無いと戒めたものである、內地でも

噂をすれば影がさす
人事いへば影がさす
噂いへば主來る
人事いへば人が來る

など似たり寄つたりの諺が幾つもある。(東海道膝栗毛)ヤヤ、噂をいへば影がさすと、ソレ旦那がお歸りだ。(通俗編)十九、白日莫レ說レ人、昏夜莫レ說レ鬼。(諺語)晝休レ說レ人、夜休レ說レ鬼、(日韓)白日無レ說レ人、昏夜無レ說レ鬼、說レ鬼則鬼至、說レ人則人至 支那の諺にも此れに類した諺がある。(自池)

京日詩壇

○元旦即事　一番瀬華山
擧杯無恙遠游人。關北又逢甆曆新。昨是今非渾似夢。笑迎四十六齡春。
評曰 温和

○元旦試筆　同人
自誇大正太平民。遙仰鄕雲繞紫宸。謹寫我皇登極詔。情懷父子識君臣。
評曰 意嚮壯重感人最深

○新年口號　木田芳洲
情同父子護君臣。誰識日東民俗淳。上下藹然和氣裏。備時自作一家春。
評曰 瑞氣靄然、雅頌深穩

○攀松田學鷗君新年口占韻　江南鰕農
意氣消沈獨撫胸。草廬寂寞學蟠龍。何時捲起風雲會。飛躍芙蓉第一峯。
評曰 先生老而益壯、其胸中宰牢之氣足想見

日報歌壇

京城 隈 梨花
□紅ばら
何事か求めんとして求め得ずかくて淡雪降る頃は來ぬ
如月は殊になつかし淡と雪ふり降りまさかき月にしあれば
疑かき君が情けに觸るゝ時紅ばらにぬる蝶の偲ばゆ

京城 血夜
□女てふ名
餘りにもめで給ふ故此日頃よわき心の女となりぬ
故もなふ君を恨みぬ餘りにも高き心を持ち給ふ故
我が戀て君の一部となりしより女てふ名をうとまずなりぬ
時折ば戲言などものたまへど明星のごと高き君かな
何となう只何となう由もなき人を思ひぬ君まさぬ時

日報俳壇

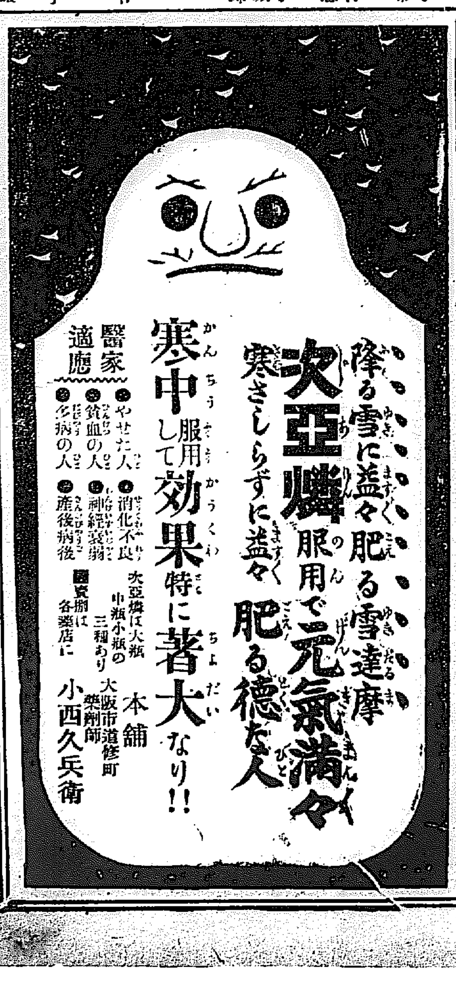
雉子郎選

短日
短日や來る筈の電話來ず暮るゝ　虚中子
短日を遊べるに似て忙しき吏　雲帝

蕪
碁に負けて妻叱りけり蕪汁　秋汀
馬借りに來て蕪汁よばれ鬼　雨意

葱
床下に泣く犬憐れみつ根深汁　沛子
客に葱引いて憲兵屯所かな　韮城
葱くれる野鍛冶が小兵憐れな　雉子郎
殘る葱工事移りし崩れ家　同
閉ぢ門くとり出る犬や葱畑　同
葱引くや緣なき障子下りて畑　同

枯蘆
枯蘆に徑あり島は鑵詰場　橙黃子
枯蘆や甃据ゑ水の澄む待つ子　同
枯蘆や貧しき舟に船を待つ　同
枯蘆や杭まざと根のとけし見る　如泥子
枯蘆や提灯燃えて騷ぐ馬　同
日毎增す工場の埃蘆枯るゝ　韮城



謹告
今般弊社寫眞部ヲ改良擴張シ最新式機械ヲ增設シ熟練ナル技師ヲ備聘シテ
寫眞銅版　亞鉛凸版
眞鍮看板標札　眞鍮腐蝕マーク
石版轉寫用銅版　其他寫眞應用版式
寫眞出張撮影　寫眞燒付複寫引伸
等可成迅速廉價ニ作製可致候間御註文被成下度希上候也
京城日報社

撞球界の泰斗 王乃一熊著
撞球指南
菊版上製三百餘頁 總クロース美裝函入
定價壹圓五拾錢 郵稅金十二錢
玉突の理論と實際を解說せる
初學者の入門熟達者の虎の卷
「東京朝日」評 我が撞球界に於ける科學的知識と技倆の卓拔並ぶもののなき點に於て斯界の權威として推さるゝ著者の最も統一せる述作なり本邦撞球者の爲に他に類例なき好指導として推薦すべき著なり
取次所 京城大平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

○八師團續々漢口に到著

漢口來電に依れば其後第八師團の兵は續々鐵道にて到著し六日英玄丸にて五百六十名を宜昌に送れりと（東京特電）

○露軍野戰作業優良

不利の形勢を全然一變せしむ

近來露軍の野戰作業優良となり容易に敵の砲擊を沈默せしめ攻擊を擊退し得るに至れるを以て開戰當初の如く露軍が敵砲火の爲め屢々大損害を蒙り第二線及び第三線迄退却を餘儀なくせしめられたるが如き形勢を全然一變せしむるに至れり（露都電報）

○武裝自動車圍を突出

最近二日間に亙りドヰナ方面の露軍戰線各地點に於て幾多の戰鬪行はれ特にリガ地方に於ては前哨戰數回行はれ露軍の一武裝自動車は首尾よく敵の圍を突出したりと（露都電報）

○慰問使渡鮮期日

長き逸にては目下寒氣の砌朝鮮駐劄第九師團並に各地派遣の各陸軍部隊に於ける衞生風紀教育其他狀況視察を兼ね御慰問の爲め侍從武官若宮少將御差遣の御沙汰ありたることは既電の如し同武官は　聖旨を奉じ寺內總督以下各部隊長への恩賜品を携帶し來る九日東京出發の事に決定したりと（東京特電）

●東拓移民（十）

江景出張所管內

（二）移住民と地方（5）

▲地方發達に及ぼせる其他の影響

移住民の一擧一動が地方鮮人に及ぼす影響の甚大なることは想像以上にして初めは何れも好奇の眼を以て之を迎へたるものも親密の度を增すに從ひ漸次秩序ある尊敬の念を增し之を模倣するを以て一種の誇りとなすものも少からず殊に於て移住民たるものも亦日常の動作に留意し其品位を失はざることに努むるに至れる也、就中最も其影響の著るしきは衞生思想の普及なりとす勿論移住民と雖も元來土壤に親しむ業務なるが故に時に外觀の美を損ずることなきに非ざるも其居常淸潔にして家具の配置の整然たる飲食物の淸潔にして見るも不快の念を起さしめざる居宅庭園の掃除の行屆きたる陋屋にありながら夫々秩序整然たる生活をなすが爲めに何れも感興を惹かざるなく不潔生活に馴れたる鮮人間に直ちに此思想を播溢することは容易の業に非ずと雖も少くも移住民其他內地人との接觸多き鮮人の漸次淸潔を主んずるに至れるは歷然たる事實にして是等の關係が一般衞生の普及となり鮮人罹病者にして醫師の診療を受くるもの增加し或は怖るべき傳染病を秘したる爲め一般に害毒を流すの罪惡を自覺するに至る等總て移住民指導の結果ならざるはなし斯る尊敬と模倣の結果は事每に移住民の主唱に贊同するの傾向を生じ或は道路の改修に進んで賦役を提供する如き或は罹災死亡等に對し鄕黨援助して之を吊慰する如き就中市場若くば大部落に於て移住民率先して消防組合を組織し火災防備の備をなしたる如きは何れも地方鮮人の最も賞讚する處に屬し是が爲め親融の要を減じたるは顯著なる事實なりとす

▲鮮人との接觸及相互間の關係

移住民の渡來に依り從來耕作せる小作地の幾分は移住民割當地の爲め引き上げらるゝ關係より其小作人は勿論附近一般多少是れを嫌忌するの風ありしが其影響の極めて微弱なると前各項に述べたる如き移住民に依り直接間接利益する處多きと政府の施設に伴ひ內鮮人共同作業增加するに依り一層鮮人に對する接觸の機會を多からしめ農事上の共同作業は勿論經濟上社會上にも益々親密の度を加ふるに至り殊に吉凶禍福に對する慶弔の如き鄕人と何等異らざる眞情の發露を見る又移住民相互間の關係も其數の增加するに從ひ益々協力援助の度を高め初め地方により多少習慣を異にしたる關係より同鄕人に厚く他鄕人に薄かりし交情も漸次是等の墻垣を撤して隔意なきに至り以て共同の利益を享受するに努めつゝあり即ち各地移住民等往々農事組合又は共同組合を組織して事務上社會上に相提携せんとするが如きは是等の事實を證する適例なりとす

●移住民の感想●　移住民中最初の期待と齟齬する點より會社に對し不平を訴ふる者無きに非ずと雖も此等は凡て惰民にして農事に熱心ならざる者に屬すと雖も內には移住民となれば非常なる保護を受くることを得べきものと誤信し渡來せるもの等の結果なり（完）

●北鮮より

▲畜牛增殖奬勵　咸鏡北道第一の物產たる畜牛數は合計九萬餘頭にして之れを咸鏡北道の農家約七萬戶に割り當てる時は二戶に三頭弱の割合なるが當局者は每戶二頭平均に增殖せしめんと奬勵の道を講じつゝあり而して昨年中の畜牛處理數は屠殺一萬二千輸出畜牛總數約九千頭計二萬餘頭にして現在の生產率に對して幾分過多の傾向あり之れ牛價低落の結果にして其の原因は（一）目下北道唯一の畜牛輸出販路は露國なるに其の取引貨幣の下落は直ちに牛價の下落を意味するに至りし事（二）牛皮價騰の爲め牛を得んとし畜牛の屠殺多く牛價を下落せしめたる事（三）二個年に亙る水害等に原因し對岸地民の生活上より放賣を餘儀なくせしめし事等に外ならず

▲咸北明太漁業　咸鏡北道の明太漁場たる淸津港以北豆滿江口は近年非常に注目されつゝあるが本年は空前の景氣にて既に投網せるもの角網淸津八統連津二統沙津三統檢津二統梨津六統西水羅十三統計三十四統に達せり尙ほ數統の投網あるべきを以て合計四十統其の漁獲高五千駄の豫想なるが外に釣漁船數十隻あるの見込なれば其の盛況思ふべく尙淸津港に於ける明太魚の仲買契約額は三月迄一駄十圓五十錢四月以降其の三分の二にて過般入札決定せり

▲魚族の新發見　昨年中淸津近海に於ける漁獲高は八十萬三千五百八十四貫價額六萬一千五十圓に達せるが其の重なる物は鱈一萬四千二百三十四圓明太魚九千六百四十八圓鯖六千八十圓鰤五千六百四十八圓鱈三千百十七圓小鯛二千百十五圓鰊二千五百十四圓鰈千九百十八圓章魚八百五十六圓鰺一千三百圓等他鰊鮭鱸等漁獲魚類四十五種の多きに上り漁獲高の增加と共に新發見の魚族益々多數となれり而して漁獲物の分布消費區分は朝鮮內六十萬二千八百餘貫價格四萬五千七百八十圓內地仕向計一萬六千七百餘貫一萬二千二百十圓外國輸出四萬百餘貫三千五十二圓なるが鮮內にて消費さるゝものは乾製明太の南鮮地方に移出するもの、外全然鮮魚のまゝ奧地羅南會寧其他に需要せられ內地仕向品は殆ど乾鱈にして外國輸出向は間島方面なりとす

▲淸會輕鐵狀況　淸會線の改修に依りて日露戰役當時より咸北唯一の交通運輸機關とせられし淸津會寧間の輕鐵も愈々本秋以後は茂山以北の鐵道未成部分を殘すのみとなれり昨年中の淸會間輕鐵鐵道狀況を見るに鐵道工事材料の輸送頻繁なりしみ丈け一般普通貨物の運輸數量減退せるも其の營業成績は前年に比し著しき增加を示し大正四年中の統計は客車二萬七千五百五十臺乘客四萬八千七百八十七人貨物十九萬百二十三噸總運賃十九萬八千百八十六圓にして大正三年に比し客車一萬三千三百二十三臺貨車二萬四千五百六十五臺乘客二萬三千五百三十二人貨物七萬三千九百七十八噸運賃十三萬七千五百七十一圓の各激增を示せり（淸津支局）

●京畿產業有望

附桑苗生產額

京畿道の養蠶額は之れを全道に較ぶるに慶北、平南、江原、平北、京畿の順序にて第五位にあり之れに反し桑苗生產額と共に將に全道第一の養蠶地たらんとしつゝあり之れ年々蠶の生產額は各道の首位にして昨年の十一月末日の豫定數に就て見るに實生苗六百十一萬二千餘、接木苗三百卅萬八千餘本にて就中接木苗の如きは道內一般の需要額百十七萬七千餘本を充たして尙ほ二百十三萬一千餘本の過剩を生じ皆く各道に向つて供給され居れり從つて京畿道は桑園の作付反別に於ても昨年迄は約八百町步と算せられたるが同春期の移植時に當り一躍五百町步の作付反別を增加し茲に道內を通じて千三百町步の桑園を見るに至りたり如斯なれば內の蠶業も日と共に盛大を來し恩賜授產事業、道當局者等の指導獎勵によりて逐次蠶業家の戶數を增加し居れるは誠に喜ぶ可き現象なり、他道に比し獨り京畿道が斯く桑苗の生產を增加する所以のものは京城は交通機關其他商取引の中樞地點なれば自然此附近に當業者の蝟集し來るものにて必然的に蠶業の發達を誘致したるものにて今後に於ける京畿道の蠶業は極めて有望と云はざるべからず

●京畿道叺製造

京畿道にては七日より二十四日迄の間に於て管內十七郡に亙り恩賜金に由る叺の傳習を開く筈なるが傳習生は約五百名の豫定にして成績優良の者に對しては其々相當の製造機を交附すべしと尙同道內の叺製造は年々發達し今日にては年額六十五萬七千餘枚の製出あり每年道內にて消費せらるゝ約百八十萬枚の叺に對しても漸次外部よりの輸入を仰がずして自給し得るに至る可き見込なりと

●慶尙葉貰晚合

慶尙南北道に於ける內地葉貰現況は製造家及び耕作者側の拂引上諸般の爲めなりと雖も慶尙南北道密陽地方へ出張歸郡せる前田度支部專賣課大邱出張所長の談話によれば總合するに慶尙北道の蠶山、三浪津地方には在來葉殆どなく密陽に約二萬四千貫あるも品質の爲めに拘らず七八錢平均に買入されたり密陽地方は十三四錢の價格にして取引たく大邱地方に於ても東村に若葉あり其他を合して約二萬五六千貫はある可しなりしは事實にして雀部より云へば本年は何故か下押しとの噂あり目下價格騰せねばならぬ順序なるに製造家も未だ充分買入れたるにあらざる可く耕作者側も飯に就きつゝある氣運の爲にして眼合の現狀を維持しつゝあるが耕作者は本年耕作反別を減じて品質良きものを耕作し鮮人に於て內地葉耕作者に對抗すべく品質向上を計るべく講習會を開きて品質研究をなしつゝあるは喜ぶ可き現象也云々

●實業界の快事

久原氏の同社開放

久原房之助氏を社長とせる久原鑛業會社は資本金千萬圓（金額拂込）の株式會社として活躍し居れるが既に第一期創業時代を經過し將來創業第二期とも云ふべき發展の時期に向へると共に事業の範圍を金銀銅を主として鑛業に局限せられつゝありしを擴大し鑛物の種類は石油は勿論鐵其他

▲凡て鑛業の範圍に屬する事業の開拓に專念する一面其販路は世界的に開發すべく從來の獨占的態度を更め之を開放的にする事とし既報の如く今回其の資本額を二千萬圓（新株四十萬株）增加して三千萬圓となすに內定したるなり殊に增資の一部十萬株を一般公募するが如きは實に久原氏の雅量を示せるものといふべし而して增資案は十五日午後一時より開會する株主總會に附議する筈なり資本金增加議案左の如し

[illegible]

▲同社の增資方法は新株四十萬株の內二十八萬株を株主に割當て殘部十二萬株は打步にて一般公募しプレミアムによる收得は全部を擧げて之を積立金となすにあり、而して同社の現狀態を觀ずるに同社創立以來客年下半期決算迄の三年二箇月間に於ける收益は都合千六十萬六千八百九十七圓となり既に同社の純益のあげ千萬圓を超過せんとし第五期營業決算の二割五分配當は

▲二割八分の好配當をなしたり而して今回の二千萬圓增資に依りて同社は千萬圓の新株拂込金を得ると假定し十萬株のプレミアムを七十五萬圓とすれば都合千七百五十萬圓の資金を運用によりて多大の利益を擧げ增資後の配當又二割以上の率を維持し得べしと豫測せらる（大阪）

◎聯絡船不著と郵便物　六日の釜山入港の管なる連絡船は海上不穩の爲め定刻に入港せず從つて七日午前內地よりの郵便物は不配達なり

忠南縱橫記（六）

鯨洋生

◎本日は公州を離れざるべからず、公州は官吏の都にして、公州より官吏を除却せば、公州は上品なるこじんまりしたる都なり、[illegible]◎在留邦人の商賣としては、雜貨店首位を占め料理店の如き飲食店に五軒を有し、旅館の如きは先づ三軒を數ふるに足るべし、[illegible]

[illegible]◎風光の上に於て、錦江はたしかに公州に於て缺ぐべからざるものなり、然れども水利の點に於て、沒趣なるは須に公州の爲に悲むべし、[illegible]

[illegible]

南言北語

北京政府がドン／＼討伐軍を繰り出すのは氣が好いが財布は愈々拂底したらしい▲其處で財政家連が頭を捻つた結果國債券と云つた樣なものを發行する相な名は立派だが其の實は役人の頭をはねることは驚く▲元來が捻つた上に捻り上げた頭から妙案を出すと云ふだから鳥渡手品サ▲其れでは役人が大不平だらうと思つて居たら何あに役人は人民から取り上るから大した苦痛もないだらうとは成る程能く出來たものだ▲支那では此の間こしらへた極彩色の新國旗が赤、白、黑、黃、青なんて何うも四分五裂の兆がある▲果して御暗を抱いで居たら▲果して雲南の騷亂が起つたので總統も[illegible]▲[illegible]

人事消息

▲谷本定幸氏（土地調査局監査官）六日入京
▲森島謙四郎氏（辯護士）知火旅館投宿　六日夕入京同上

●滿蒙山東產業

[illegible]地は一天地（日本六反）最上百圓より十七八圓の間に在りて其[illegible]馬群、牛群、羊群は此處彼處に蠢動[illegible]牛酪罐詰、硝子、蠟燭製粉、火酒の各種製造業行はれつゝあるも[illegible]の如きは世界の第一位なり又石炭の如きも世界第三位と稱せられ此外鐵[illegible]りて炭質は頗る優良なり而して約一[illegible]の泥炭を除くの外は全部純良なる[illegible]含有量頗る豐富にして專門家は約一億萬噸の鐵鑛を有すと聲言しつゝ[illegible]たるも農民の常態として米穀收穫後直ちに之れを放賣し目前の租稅公課小作料商債務等納付又は償却に充て殘餘は悉く浪費し而して翌年正月の[illegible]は漢江の結氷を見るも本年は氣候溫和の爲め今尙舟楫の便ありて農產物の取引意の如く行はれ金融圓滑の結果其成績比較的良好なり本月二十[illegible]

●驚くべき製靴の進步
▼靴使用者の大喜び
優美堅牢にして穿き心持よく而も飛離れて勉强の靴店として好評ある東京芝區愛宕三金靴店（電芝六九〇）にては今回頗る安い靴が發賣されたいからとて變つた形狀や異つた材料で造るのではなく甲皮はボックスを使用し一足每に熟練なる職工手縫にして凡て分業組織故手間の省略方法の改良等工夫した結果である本靴の特色として價格は從來の靴の半値にも當らぬ編上靴二圓八十錢深ゴム三圓長靴五圓と云ふ安價にて底部は磨滅を防ぐため耐久底金を施しある故其の耐久力は僅か二圓內外で數百の靴に匹敵する故に目下日々に數さへ足の實行を見し工場は日夜忙殺されつゝあり希望者はハガキにて靴の種類と足袋の文數通知すれば直に引換小包送料實費にて送附するよし

のう病
永年のう病に悩む方にも奏效顯著なる良藥あり切手三錢送れる東京府下淀橋町衰弱救生舘にて無料進呈す

八千代碁石
本店發明の碁石は原料の異なると數年經驗の效に因り愛用諸彥の御賞讚を蒙り續々御注文御用命を得益々多數の御賞狀を受け候品質優良販價低廉品に候◎商標八千代碁石を名稱の類似品販賣者あり商標御注意を乞ふ
大阪市東區淸堀町三六入造碁石元祖
◎見本送附は郵券二錢御送附を乞ふ
製造販賣店

募集
專賣特許有利發明品代理店希望者至急申込あれ
東京小石川休町九二　大正廣業社
振替東京一九三五　電本三七七一

字探し募集
問題　此の廣告中に萬の字が幾字有るか
賞　正解者に一人一本限り弊所發賣定價金參圓五拾錢の萬年筆（金ペン入クリップ付箱入）習本提供す
解答　解答はハガキに限る宛名は大阪市中之島二丁目サント製作所宛〆切二月二十日限
選　新聞社員の御立會を得て先着順選別にて正解者に通知す
主趣方法　光榮なる御賞にサント萬年筆の使用に依る眞價を未だ御使用なき諸彥に知らしめん爲め最も苦心の結晶品を進呈す（三百圓）を計畫なり此の機に一本にても多く御使用下され度き主意にて正解者に當選者に百本提供し更に他の御使用者に三十本の御送附致すべく候て三十二枚の切手御送附を乞ふ

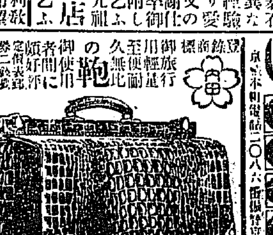
筆年萬トンサ
日本大阪　サント製作所

三易　岡村介石
明治町二丁目

新刊書御案內
京城學校組合告示第一號
京城學校組合區域內ニ居住スル內地人兒童ニシテ明治四十二年（己酉）四月二日ヨリ同四十三年（庚戌）四月一日マテニ出生シタル者ハ來ル四月ヨリ學齡兒童ト爲ルニ付就學ノ始期ニ達スル者ヲ有スル保護者ハ所定ノ入學書ニ戶籍謄本若ハ抄本ヲ添ヘ來ル二月十九日限所轄京城學校組合又ハ京城府ニ提出スヘシ
大正五年一月十日
朝鮮總督府府尹　金谷充

書名	著者	定價
◎日本歷史通覽	高桑駒吉	四、〇〇
◎明治文明史	小林鶯里	三、〇〇
◎改訂倉庫論	小林行昌	三、〇〇
◎肥料的要作改良法	鈴木	二、六五
◎家庭衞生治療と調劑	河合	二、八〇
◎電線製造法	田中米一郎	二、〇〇
◎教育の革數	稻毛詛風	一、三〇
◎佛語時の用法	ジュプスケ	六〇
◎我が書翰	五十嵐力	六〇
◎英文書簡集	駒井	九〇
◎現代美文選集	桑田春風	六〇
◎新式初學作詩法	平井	七〇
◎安心錄	瀧澤	七〇
◎宇宙（縮刷）	三宅雄二郎	五〇
◎從軍三年小敵大敵	瀧川	一、三〇
◎禪心錄	近重	一、〇〇
◎新譯西國立志編	栗田	一、〇〇
◎日蓮	村上浪六	七〇
◎野心論	澤柳政太郎	一、二〇

大阪屋號書店
京城本町　振替京城一〇八六番　電話三七七

登錄商標　旅行用御便利輕便無比耐久鞄
御使用者間に好評の鞄

東京市芝區新堀町一五一　京東振替八一七一
內田鞄製造問屋

朝鮮米雜穀移出商
依托販賣並に遭難一切
仁川濱町
西尾商會代理店
主任　北島五郎
電話五四五番
大阪北濱二丁目
本店　入荷商・輸出商　西尾商會
電話本局二四〇八番

優等淸酒
一鶴
京城本町四丁目　電話六五四番
本莊酒店

閑靜にして避暑避寒に宜し

…き調査…某氏の談を聞に滿蒙一帶の地價は一般に不同なるも概して低廉なり開墾して畜産の方面は既に一定の世評ありて到る所可ならざるは無く數百の…ろか改良せ…外の其れに比し遜色な…至るべし又工業の方面は燐寸滿蒙に於ける礦山は其の數甚だ多くして前途頗る有望なり殊に天然曹達…の排水工事は其の後全く完成し一日約二千…內外の採炭をなしつゝあ…の設備をなしつゝあれば近く之れが完成の曉には一日優に五千噸以上の採炭を得べく又金礦鐵山は其の…

■二期相當額折半

况につき那當局者は語りて曰く地税は從來慣習により第二期分を繰上げ第一期と同時に徵税せしが本年よりは法定納期により徵收する事となりする傾向ありしに鑑み納税組合を組織したるに農民に於ても組合組織の有益なる趣意を解し進んで組合費を納付し一面に於て例年十二月中旬に七十圓○四錢才納宿一萬六千七百十六圓九十二錢にして收入步合六割二分三厘なりと（忠州）

■警戒を解く（六日午後一時卅分發）北東部の警戒を解く

●朝鮮は大丈夫だ！
地震の噂が有つても平氣で居られる
——仁川觀測所技師關口理學士の談——

今年は何處でも例年に比較して稀有の暖さであるから地震があるだらうと噂して居る人も有る樣だが暖いから

地震が起ると云ふ事は斷言

出來ないつまり氣候と地震とは左程密接な關係を有するものではないのである假令其俗說が眞理であるとしても決して大なる地震はなく唯一の微動が有る位に過ぎない

朝鮮は地下が比較的安定に

出來て居るが故に地震が少ない漸く年に二三回微震がある位に止まつて居るのを見ても大抵想像が出來る少し大きな震動が有つても地盤が非常に堅固であるから感じない地震を豫知する爲に各地の測候所には普通地震計を備付けて居るが此機械では漸く人體に感ずる位の地震か或は稍々著しい附近のものを感知する位のもので遠い微震を知ることは出來ない當所では現在微動計と地動計とを備へ付けてあつて微動計といふのは

東西動の實動を百五十倍に

現はし地動計は南北動の實動を二十倍に現はれる樣に出來て居る內地には中央氣象臺と理科大學の地震學教室及び大阪神戶長崎下關の各測候所及び水澤緯度觀測所其他二三の主なる測候所にあり此外には臺北大連長春支那には上海青島各地の測候所に備付けてある其處で此機械では

微動發震の時刻震動の強弱

の變化を精細に調べるのが目的である震源地の距離や方向も推察から判明出來るのである從つて各地での波動の觀測を綜合すると各地の動搖速度が分明する統計上から調べて見ると大地震は何年目にあるとか小地震が屢々生ずる時は大地震が少ないとか種々の說があるが物理學とは沒交涉である（仁川支局）

●人工で孵化した 鱒の兒
釋王寺の一名物

京元線中第一の名勝地釋王寺驛は雪峰山麓の巨刹釋王寺を以て天下に識られて居るが昨年十二月九日から又境內斷俗門入口の松林中に鱒の人工孵化業が始められた、此の新らしい計畫は宋子爵の經營する釋王寺溫泉の管理者佐瀨熊哲氏の試みであるが現に

◇總督府で經營中の永興に於ける鮭養殖場

と共に將來咸鏡南道に於ける名物となるであらう、現在の孵化場といふのは釋王寺の入口に當り淸らかな溪流の流れに浴うた一坪許りの掘立て小舍であるが、鱒の子を容れた養槽は方四尺深さ一尺許りの檜造り水槽となり溪水は絕えず筧によつて入れ替るやうに造られてある、猶ほ又鱒の子が相當の太さに成育するまでは太陽の光線を避ける爲めに僅か許りの小窓を開けたまゝ平素は室內を薄暗くしてあるが試みに其の水槽中を見れば長さ四五分許りの目高位ゐな鱒の子が底充滿に蠢動して居る、そして

◇腹部には大豆の大きさ程なる卵嚢を附け

てゐるがこれは目高の時分に滋養分を攝取する用意であるといふ、目高は嘗膽中滋賀縣の試驗場より卵のまゝ移入し始めは一萬個ほど到著したものが今では約七百個許り死亡して居るが來る三月初旬頃養槽中から養魚池に移すまでには約一割減じ詰むだらうと云はれて居る、目高はこれから成育して獨で水中に浮きあがる頃を待ち食餌を與へるといふことだが昨今の有樣では成績が良好であるといふ猶ほ佐瀨氏は近く安邊の三防川に鱒の養殖を試みる爲め來る五月を期して北米加州の櫻府から一萬個の鱒卵を輸入する計畫中であると

●十九歲の母
愛子を抱きて燒死す
長春新市街料理店の慘火

五日午後八時十分新市街支那料理店大順班より出火し火勢猛烈を極め損害額家屋四萬吊其外道具類一千餘元に達したり玆に憐を止めしは燒死者の中には上海生の金翠芬さて妙齡十九歲の婦人はその子の六歲なるを抱いて慘死を遂げ其外婦人五名は急遽のことゝて出口を失ひて蒲團の中に埋り居り纔に消防水の爲めに息をつなぎ居りしを消防夫に助けられたり六日朝七時頃に至り更に燒死者一名發見されたれども男女不明なり此火災を初めて發見せるは吉田巡査にして發火の原因は電氣の漏洩なりと被害者は言へど他に煙突より失火せりとの說もありて何れとも決定せず午後十時に至りて鎭火せしが時正に舊正月に際し混雜一方ならざりき（長春特電）

□花このごろ（二）シクラメン
——春若き靄動きて白き花首の御手を思はするかな——

●中毒患者 感謝の淚
義州療養所成績
規則的生活成功

平安北道義州憲兵分隊が特殊の試みとしてモルヒネ中毒患者を收容治療し以て此種不良民を根絕するの手段として嚮に療養所を開設せる次第は當時報道せる處なるが同所は豫期以上の成功を收めて一月三十日限り之を閉鎖せり今當事者の語る處に依れば患者の過半數は乞食同樣の無資產者なるも其內南門外居住の柳泰根の如き以前は十萬圓以上の資產家にて二十八歲の頃よりモヒ注射の味を覺え之が爲殆んど資財を蕩盡するに至れるものなるが彼等が之を始むるに至りし動機は收容患者三十四名中胃病の爲にせるもの八人を最高とし次は赤痢、マラリヤ、虎烈刺等に因るもの七人、腹痛六人、單に道樂より始めしもの四人等にて孰れも發病後醫師の診斷を受くることを好まず豫ねて聞き傳へし注射を始めたるもの、如く一日の注射分量は二三十錢より五十錢位迄を普通とし甚だしきは一日八十錢平均を要するものさへあり同所收容患者三十四名中十名は成績頗る良好にて他のものより十日間早く歸宅せしめたるが收容當時は顏色何れも蒼白にて見るからに不快を感ぜしめしが退所する時には何れも體量增加し就中著しきは僅か二箇月間に四貫八百目增加を示せるものさへあり給與せる食物は粟に小豆を混じて炊き粟に豆を副へて食せしむるに過ぎざりしに微しでも規則正しき生活が養を助くることは誠に驚く可し開放後に於ける無職業者の處置に就ては少なからぬ苦慮を要し撫軍、勞働者、小使等其れ〳〵適當の職業を與へ歸後發病の場合は必ず慈惠院に就いて治療を受け斷じて再びモヒ注射を爲すが如き事なき樣說諭して歸宅せしめたるが何れも深く感謝して隨喜の淚に咽びたりとぞ（義州）

朝鮮一（4）
各道第一部長は語つて曰く（4）

金、牛、柞蠶、蠶業　平安北道第一部長　三田　善喜氏談

成程金の產額は朝鮮一かも知れない併し是れは多く外國人が經營つてる事だし餘り感心しないが牛は蓋し朝鮮一であらう數から云つても約十七萬頭農家一戶一頭割に普及してゐる是れ道廳で採つた手段方法の宜しきを得たと敢て稱しても宜いが兎に角土地が非常に牧牛に適してる譯なのだ一方戰爭勃發と同時に牛皮暴騰し輸出された生牛一萬餘頭屠殺されたもの約三萬頭と云ふ盛況で現狀を以てすれば優に朝鮮一たるを失ふまい柞蠶は他道に其の比を見ない處から三四千萬粒の小額ではあるが兎に角朝鮮一だ併し本道の言ひ度いものは蠶業である昨年の掃立三萬餘枚、收繭約七千石で前年に比し殆んど倍加し現に朝鮮では四に位するが野桑を以てしても然り現に昨年迄に民間に配布した魯桑二千萬本、更に鐵道沿線は約五箇年、山地は二箇年の豫定で總て三千萬本を加へ一萬百本平均に至らしめんとしてる計畫が成功した曉は優に朝鮮一たる位置を有するに至るであらうと信ずる本年は廿年來の溫暖で平安北道々民平安無事を謳ふてゐる

苧麻、籾殼仲買　全羅北道第一部長　大久保　到氏談

全羅北道は面積の割に平野が多い事は朝鮮一であらう全收穫百四五十萬石から言へば面積の關係上慶南には及ばないが品質は優良である其優良種普及の割は全耕地十二萬一千町步中既に五萬八千町步に及び優に朝鮮一と稱するに足る群山港の貿易も漸次盛大を極めて行くが大正四年度總輸移出額七百二十九萬圓中の約八割約六百萬圓は總て移出米である即ち此多額は總て全輪移出港中米殼の輸移出額の朝鮮一たるを失はぬ他道に比して類の無い事は昨年末に出來た籾殼仲買である籾殼を三四年以前から燃料にしてはゐたが籾殼の大部分は鮮人を賃して遠くに捨てさせてゐたのを近來籾摺業者の激增と同時に之を買占めて燃料に供する事になつたのは正に一新利源と稱すべく既に改良竈迄も製造せられて籾殼利用の方法完成されてゐる何にしろ今迄は捨てるのに金がかゝつたのが少くも幾干かに賣れる事になつたのだから大に特筆して頂いても宜い事だと思ふ忠南の苧布の原料は總て本道で出來る水の關係から製造は忠南が適してるらしいが本道の原料と相俟つてこそ忠南の苧布をして朝鮮一の名を得さしむるものだ

●五分間
あゝ最後の瞬間
大仁丸沈沒詳報

上海經由香港來電によれば大仁丸の衝突は二日夜半香港の北方九十浬の地點に於て起り香港汕頭間航路にて北行しつゝありたる

■臨安丸の船首は大仁丸の中腹に衝突し大仁丸は五分間にして沈沒せり臨安丸船長ボッピンダー氏は直ちに二隻の救命艇を引卸したるが暗夜の事とて僅かに齋藤船長及び三等運轉士一名を救助する事を得たるのみ日本船士一名支那船員十一名及び支那人乘客七名は大仁丸の

■短艇より救助せり行衛不明者中には日本人六名支那人九十八名乘客及び一、二等運轉士機關長機關士支那人船員四十七名及び印度人監視人四名あり臨安丸は大仁丸の生存者を乘せて香港に來れるが臨安丸の船首に大損傷を蒙りたるを以て直ちに救助せり（上海特電）

●成功せる 氷上運轉
奉天より黑河を渡り鐵嶺に赴く

自動車支班の本部須崎中佐以下將校八名准士官二名下士以下三十一名職工四名は四日朝七時四十五分奉天列車にて來奉し直ちに貨物ホームに於て自動車の手入各損所の修繕等に繁忙を極めしが五日及び六日當地にて試運轉をなし其上長春方面に向ふ自動車は全部てに九臺其の內乘用車三臺貨物車六臺にして重なる目的は寒地氷上運轉なるも近來の暖氣の爲め充分の試驗は不能なる可し去三日先發の水谷大尉は自動車にて鐵嶺迄試運轉をなし黑河を渡り午後六時歸奉せるが其結果は非常に良好なりしと（奉天特電）

●眞夜中に 銃聲喊聲
鳳凰城官憲驚愕

二日朝五時半と覺しき頃鳳凰城城南山より居留民墓地の小山に亙りて突然發砲の音凄じく引續きて突貫の聲天地を動搖せしかば天未だ暗く臥床の夢を破られ常より革命黨の安奉線を往來するとの噂に限りなく嚴密に注意せる折柄とて支那大官連の狼狽一方ならず革命軍不意の襲擊ならんと非常の騷ぎをなし即時密偵を派して取調べしに當日は連山關より吉村大尉河原中尉の引率し來れる小隊及び鳳凰城守備隊阪田中尉の率ゐる小部隊との演習有りて支那密偵の現地に至りし時は已に演習も終りを告げて隊伍肅々行進喇叭の音勇しく歸隊の途に就く其の光景を認めて斯と報告せしかば漸く安堵の胸撫で下したりとは時節柄滑稽の至りなりき（鳳凰城）

●肺結核患者路上に斃死す　本籍住所不明の五十歲位の朝鮮人男一名午後五時頃京城樂園洞の道路に行倒れ死亡し居れるを鍾路署より官醫出張檢視せしに肺結核にて死亡したるものと判明したり

●有勳者の縊死　原籍山口縣熊毛郡麻鄕村岩谷太吉（三八）は釜山寶水町に住居し商船組仲仕として忠實に働き居たるものなるが去る頃より不圖綠町遊廓に足を踏み入れたのが病付きとなり娼妓の甘言に迷ひ果ては僅か三圓餘の金策に困り遂に龍頭山上にて縊死せんとする處を附近の者に發見されて其の目的を果さざりしが此の心得違の男は日露戰役に動功あり勳七等を賜はりたる男にて官より懇々と說諭され前非を悔いて引下がれり

●老婆電車に觸る　六日午前十一時半頃京城南大門內電車停留場電柱附近に京城電氣の第百一號電車が停車せんとしたる際太平通二丁目の李泰漢方の朴召史（六〇）が線路を橫切らんとして電車に觸れ救助網に倒れ込み右手左頰等に輕微の擦過傷を負ひたるより直ちに該電車にて鍾路通りの病院に連れ行き加療中

●石油庫に忍入る　全南光州光州橋を距る町餘の松汀里街道右側に設置せる米國スタンダード石油會社木浦特約店の管理なる石油倉庫は客年十月以降數回に亙りて同倉庫保管の石油二十數箱を何者にか竊取されたり石油暴騰の折柄とはいへ賊は大膽にも深夜合鍵を以て悠々と搬出せる形跡あり目下其筋に於ては嚴重犯人の搜索中なるが既に有力なる證據を握り得たりと

●黃金町の空巢覘　京畿道楊州郡九里北面生れの洪範照（二四）は藥品を買はんと一月三十日午後八時頃京城黃金町の某藥店に赴きたるに折柄店頭に人なきを見澄まし土間にありたる黑短靴一足（七圓）を竊取し翌三十一日午前十時頃龍山漢江通りに於て賣却せんと徘徊中を巡回中の龍山分隊憲兵に取押へられたり

●金棒を盜む　住所不定の乞丐朴壽夫（十八）は二月一日正午頃京城南大門通五丁目中根某方前の車上にありたる金棒一本（七十錢）を竊取し之を携へ龍山を俳徊中龍山分隊の憲兵に捕へらる

●新町病院視察　隈部京畿道警務部長は宮舘本町署長佐藤衛生主任警部と共に六日午前中京城新町遊廓事務所及び新町病院に就き種々巡視をなしたり

◎子供の出來ぬのは如何云ふ理由か

▲夫婦同棲して二三年も經てば生理上必ず姙娠せねばならぬ筈であります。それが三年經つても五年經つても子供の出來ぬのは夫婦の身體に何處か異狀があるからです、偶には男子に子胤のない場合もないではないがそれは極めて稀で、その十中の八九までは婦人の生殖器疾患、即ち子宮病、卵巢病、血の道、ヒステリー等から怖るべき不姙症に陷るのです

▲子宮病や血の道の一般的症狀はと申せば先づ月經が不順がちになる、手足や腰の邊が冷える、次に頭痛、眩暈、逆上、耳鳴、肩の凝、食慾不進、下腹の引吊るやうな疼痛等いろ〳〵な變調に伴ふて遂には精神に迄異狀を來し、平常何とも思はなかつた小事が非常に氣になつたり心配になつたり、又は氣分が鬱ぎがちで而して局部より白帶下、赤帶下、を流し身體は瘠せ衰へ子寶などはとても擧げ得られず、一生つらい悲しい月日を送らねばならぬ樣になるのです

▲よい子の生れる譯

そんなら如何にして此子宮病を治し、健兒を得らるゝかと申せば、それには女の病氣になる原因と、これを治すには如何にするが良いかと云ふ事をゼヒ會得するの必要があり升、命の母本舖では既往十數年間に涉りて一般の御婦人の爲めに、婦人病者の心得と題する有益なる冊子を無代で、配布して居ります。本舖は有名なる婦人科專門の大醫方が、姙娠と不姙の理由は勿論、產前產後の養生、ヒステリー血の道に關する療法等凡を婦人一代の衞生を、何人にも實行の出來る樣に親切に書いてあります、これさへ讀めば此寫眞にある樣なよい兒の產れる健婦人となり得るのです。遠慮なく左記何れへでもハガキで申込まれよ喜んで進呈す。

（これ皆最近實驗者愛兒の寫眞なり）

（一）下野國那須郡寶積寺驛東通り　藤田利根吉
（二）福岡縣田川郡上野村　内山愛兒
（三）攝津伊丹町ノ內北村　藤原靜夫
（四）常陸東茨城郡小松村　松崎信興
（五）岐阜縣高山本町二丁目　熊崎敏子
（六）高知市堺町　山本龍機商會
（七）肥前西彼杵郡頸母村　浦村初枝
（八）鹿兒島縣姶良郡東堅山村　有村愛兒
（九）岡山縣淺口郡鴨穗村　森永英雄
（十）福井縣敦賀郡東浦村橫濱　辻井傳兵衞

東京京橋區新榮町四丁目
大阪東區淡路町一丁目
命の母本舖　笹岡省三藥房

千生瓢（118）

須藤南翠作　筒井年峰畫

忠烈（五）

秀吉はその鞭の基を締め直すのを見て、鐙踏ん張り突つ立ち上り、

『面々、如何にも大事の軍ぞよ。能く心して戰へや』と、獨特の大音を發して下知を傳へた。

この下知を聞いた諸將は、忽ち天に冲する意氣を示した。

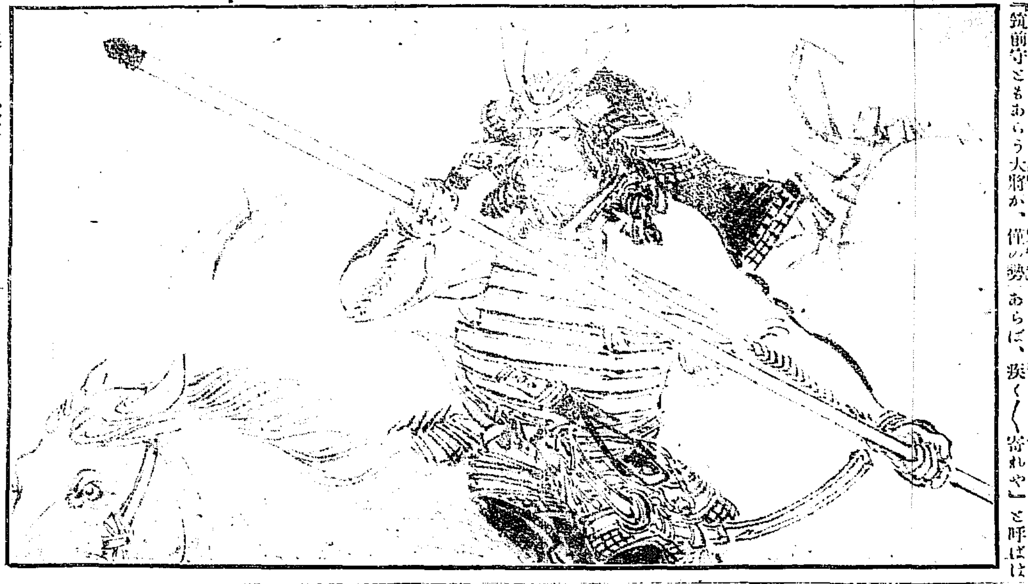
『筑前守ともあらう大將が、僅の勢にて備へたる勝家を、いかばかりの勁敵と思はれてか、大事〳〵と仰せらるゝこと、甚だ以て心得難い。假令勝家鬼神の如き勇あるとも、高の知られたる小勢ぢや。謀略を施す餘地なく、短兵急に押進んで、我討ち取つて感賞に與からうぞ』

我も人も憤然として競ひ立つた。

此機會を看破した秀吉は、片頰に笑みを含みながら、一聲鋭く、

『懸れッ』と命じた。

此一令を待ち詫びた、丹羽五郎左衛門長秀、堀久太郎秀政、木村小隼人、鈴木、筒井の面々、貝を吹き、鼓を鳴らし、二萬餘騎の大軍を以て一齊に討つてかゝる。



敵を十分に引き付けて、毛受勝助家照、やをら楯の間に立ち現はれ、

『寄する者は誰ぞ！おゝ表裏者の丹羽五郎左衛門尉に、大膽病の堀の久太、さては日和見の筒井法印な。近き者は目を刮つて見よ、遠き者は耳を滲つて聞け、是れは北陸道の管領柴田修理亮勝家なるぞ。我れと思はん者あらば、疾く〳〵寄れや』と呼ばはつた。

『おゝ、その鬼柴田待つて居た。木下半左衛門、討ち取つて恩賞に與るわ』と、大音に呼びかけ〳〵、六千餘人の眞先に立つて、勢ひ烈しく進み寄る。

勝助、久左衛門の兩人、一散に進み出でゝ、前に進む雜兵の諸臑、薙ぎ立て〳〵薙ぎ倒す。是れにて少しく怯む處を

『それ懸れ！』と廝く。

待ち設けた五百餘人、眞黑になつて走り出で、槍に太刀に、突き立て切り立て、面も觸らず鬪うた。木下が六千餘人、立つ足もなく切り立てられて、後に控えた筒井が備へに崩れかゝつた。

毛受兄弟、此等に少しも目をかけず、尙も手痛く働らくを見て、木下半左衛門、怫然として憤り、

『蓬なき者共の振舞かな。柴田とても鬼神ではないぞ。我れに續けや者共』と、大音聲に呼はつて、眞一文字に突き進む。

勝助此體を見て、大に怒つた。

『秀吉が陣中、人も多からうに、其方如き小人の、この勝家に立ち向ふ事の面憎さよ。待て〳〵只一突にしてくれるわ』

大聲に駡りながら、大長刀をうち振つて、追々と馬を進め、

『柴田勝家が死に物狂ひ、木下半左衛門、其處な退きそ』と走りかゝつて一薙薙ぐ。

手練に徒のあるべき筈なく、半左衛門は膝の頭より、太腿かけて、鋒先上りに劈かれ、急所の深傷に馬にも堪らず、撞とばかりに落つる處を、郎等周章て走り寄り、引つ擔いで逃げ去つた。

勝助此の體を見て、

『主人に刄向ふ天罰見たか』と、冷笑つた。

寄手之れに辟易して、進み難ねて見えたので、勝助は馬上に伸上り、

ビスケット、パンや干菓子は木村屋の品に限ると人は云ふなり（京城明治町、電話二八七〇番）

『敵は選ばぬ、誰でも來いや』と、扇を開いてうち招いた。

此の一言に激されたか。

『小川土佐守見參！』と、呼ばゞつて驅せかゝる。

勝助も馬を進めて、

『小川土佐守とや。其方元は六角の家人にてありながら、主を棄てゝ織田殿に隨身し、剩さへ一旦明智光秀に一味して、今また筑前守に從ふと聞ゆるぞ。武門に在りながら、能く〳〵主從の義理を辨へぬ白痴漢、常ならば勝家が目通りも許さぬ奴ながら、今は最期の一戰ぢや、冥土黃泉の供に伴れて、其方が背いた大將達に申し譯をさせてくれう。いざ來い人非人め！』と、散々に駡り嬲しめた。

□二葉會第一回例會

吉澤帝史宗匠撰

題　二葉會を祝して松に題す　春の川、椿、蜆、草餅

宿もする峠の茶屋や草の餅　峯堂
渡船なき離れし小家や草の餅　鶴蓀
春の川蜆光る夕かな　京酉嵒
色かへぬものゝ司や二葉草　同人
京の客京餅買うて戻りけり　鶴蒳
早瀬とけいつゝけし名ぞ春の川　京酉屋
新要の口元やさし蜆汁　蓀堂
松の花斯かる大樹も二葉より　蓀堂
霽捲沈思の耳に響きけり　京酉屋

秀逸

鶯御前の聲もあらはや蜆掘る　峯人
春の川花の筏も流れけり　尼蒳
偲ばるゝ古刹のあとや落椿　鶴屋
草餅に玉露などゝは奢りかな　京酉
觀寶聲の透りに說住みて　鶴蒳

三光

味ひは禁にありしゝみ汁　京酉屋
無常なりけり椿の落る音　同人
春の川泡もくすさす流れけり　鶴蒳

加

就中柳さ親し春の川　帝史

大阪より

▲北海鐵材道に…

ざるより大阪當業者は目下進退の交…
沙中なりと…

▲一昔　大阪商船…

航路を竣成すべく內二隻は二月中に竣成の筈なりし九月、九月には四
局終決せば借入外船を解約する方針なりと…
航せしめ又陸軍運輸部に於ても第三琴平丸に救助方を命令せる由なるが…
は時價四十萬圓の價値あり船主の損失尠なからざるべし本船は千八百九…
進せるに昨年來の米價慘落は一層地方農村の疲弊にて資金の缺乏は甚だしく爲に之を醫すべく勸業銀行の都…
ろに依り昨年末の現在高は二億二千五百二十萬九千圓なるも勸銀の資金吸收に反し其地方農村に融通せしを…
しも其貸附の思はしからざるは農村の疲弊に信用の薄らぎしはい〻勸銀の融通も當を不得やの批難紛から…

クラブ本店化學研究部
新發明の不思議な白粉

生地の色まで白くなる
クラブ美の素白粉
クラブ白粉と

英國藥學者スミス氏と日本の藥學者數名の研究で出來た……附けて高尙で非常に美しい計りでなく洗つた後も不思議に

他の白粉には眞似の出來ぬクラブ美の素白粉とクラブ白粉の

大なる特長

▼最新式クラブ白粉と
▼クラブ美の素白粉は

クラブ本店化學研究部で最近發明しましたクラブ獨特の美身劑が配合してありますから附て高尙で非常に美しい計りでなく洗た後の生地の色までも白く美しくなるといふ不思議な作用を有つて居ります……他の白粉よりは遙に色が白く光澤があつて如何にも地肌の自然から出た白さ美しさに見せます……他の白粉よりはズツと分子が細かいのでノリもノビも一番良い上にお化粧の持が良くて永く崩れません……或る白粉の樣に肌を荒らす恐れは絕對にありません……純粹無雜の無鉛白粉ですから安心してお使ひになることが出來ます

クラブ本店技師英人 ビー、エル、スミス氏

ビー、エル、スミス氏は倫敦藥學校の出身にしてエ、メンバー、オブ、ファマシユチカル、ソサイチーの英國學位を有し明治四十四年以來今日に至るまでクラブ本店技師としてクラブ各種化粧品の發明に苦心し我が化粧品界に一大光彩を放ちつゝある有名なる藥學者なり